

京 都 府	
1・1 堀内家8代松翁宗完没、56歳。 京の茶家	5・21 西本願寺宗祖降誕会に能楽奉納。金剛謹之助・片山九郎三郎演能。 日出 5・21
1・1 福真亭(初出)、小雀・小昇・小菊ら浮れ節。 日出 1・1	5・31 常盤座、市十郎・仙昇ら一座開場。 日出 5・30
1・29 京都市歌成り ⁽¹⁾ 小学唱歌教員の講習会開催。 三浦、本邦洋楽変遷史、京都府教育雑誌 明31・2	6・3 南座、福助・雁治郎一座開場 ⁽³⁾ (26日打上げ) 日出 5・25、11、6・29
1・一 坂井座、雀三郎・関十郎・梅之助・広三郎ら一座興行。常盤座、壮士芝居好生団一座興行(19日千秋楽、23日再開。福井座、尾上・梅昇・梅曉一座興行(1・21打上げ、2・1から続演)京極座、正若一座興行。(26日打上げ。6月興行まで打続)。 日出 1・1、23、2・1、28、5・1、31、6・18	6・10 池坊専明33回忌、立花供養会挙行。 日出 6・3
1・一 千本座、片岡市之丞一座開場。(6月興行まで続演。 日出 1・1、2・28、3・27、6・28	6・17、18 池坊生花月次会開催。日出 6・19
2・5 坂井座、延二郎入営し、徳三郎・当十郎ら一座開場。 日出 2・2、5	6・20 京極座・市川鯉四郎・尾上猪三郎・片岡金笑・尾上松太郎ら一座開場。 日出 6・18
2・7 南座、白虎隊荒木一座に村田正雄・熱海孤舟・酒井正俊ら加わり、扶桑団と命名、開場。3月興行続演。 日出 2・5、3・22	7・15 常盤座、大成団一座 ⁽⁴⁾ 開場(常盤座8月休業)。 日出 7・14、8・1
2・一 夷谷座、座主杉本五兵衛ら13人の合資会社組織、「京都夷谷座合資会社」と命名、資本金5万円。 日出 2・25	7・15 祇園館、人形芝居上村源之丞一座開場。 日出 7・12
3・2 校長会の発起で唱歌「嵐山」の作詞を黒川真頼に、作曲を小山作之助に委嘱、小山指導の講習会を柳池校で開催。 京都府教育雑誌 明31・2	8・1~12 南座、竹本文字太夫一座浄瑠璃興行。 日出 8・1、12
3・20 川島甚兵衛帝室技芸員となり金剛能楽堂で祝賀会開催。 日出 3・19	8・7 坂井座、熊本県土族英福一調「軍事教育日清戦争実談」を講演。 日出 8・6
4・19~22 豊太閤没後300年祭盛大に挙行。 ⁽²⁾ 記念行事の内4日間大がかりな奉納能楽開催。 千作狂言八十年	8・14 福井座六美団開場。河村黒鷲・奥平敬輔一座(9~12月打越)。 日出 8・13、9・27、10・14、11・10、30
5・1~5・5 豊国祭踊期間5日間延期し最高潮。豊国会余興部踊の実を上げるよう市各組に勧説。1日京都織物会社男女工千人余菰樽を積んだ屋台を曳いて参拝、2日雨、3日夷谷座女優者連中太閤垣で都踊、4日稲荷神社祭礼と重なり各様の仮装行列踊市中沸く、5日最終日更に烈しく沸騰、東山辺人の海。 日出 5・1~6	8・21 南座、福井茂兵衛・熱海孤舟・木村猛夫・亀井鉄骨ら壮士俳優大合同一座開場。「義勇乎野蠻乎百年の仇七幕・色と慾三幕」(9・14の替り開場、10・6千秋楽、8・9大入祝に盲啞院の慈善興行)。 日出 8・15、9・13、10・8
5・3 常盤座、市川市十郎一座開場。 日出 5・2	8・一 京極座、活動写真興行、15日からブラックの人情話。 日出 8・15
5・8 幾代席、東京下り三遊亭円生ら出演。 日出 5・9	9・8 坂井座、延二郎・雀三郎・徳三郎一座開場。(10、11、12月続演、日出 9・30、10・31、11・30)。 日出 9・7
5・8 豊園小学校で(豊公別墅旧跡地)献茶式挙行。 日出 6・9	9・15 常盤座、8月休業、3階建改築着工出願。工費13,000円。 日出 9・16
5・14 福井座、平安壮士団一座(高井直二郎・青木宜清・島津三郎・松平松花(女壮士)ら一座開場、初日無料、上下京の貧者に白米五合宛施与。舞台慣れないとの批評(6・5まで打越の予定)。 日出 5・11、13、19	10・20 南座、市川荒五郎・嵐璃瑠・中村玉七一座開場。(京都の侠客山本覚太郎が座を借り興行)。 日出 10・11、14
5・19 坂井座、好生団打越初日(6月続演)。 日出 5・19、31	10・22 時代祭に鳳輦新調し行列に参加。皇太子台覧。 日出 10・17、23
	10・一 京極座、正若一座開場(11月続演)。 日出 10・25、11・23
	11・2 祇園館、盲啞院慈善音楽会開催。 日出 10・20
	11・6 今宮神社能楽奉納。金剛謹之助・片山九郎三郎・坂氏連・種田喜一郎ら出演。 日出 10・23
	11・8~25 岩神座、泉祐三郎一座今様能狂言興行。 日出 11・8、25
	11・17 伏見大手座演劇株式会社創立、(桜井安兵衛ら11名発起資本金1万円)。 日出 11・17
	12・1 南座、福助・雁治郎ら大阪中座の引越で開場。 日出 11・20
	12・21 府会市部会、演劇興行税等に関し紛糾。 ⁽⁵⁾ 日出 12・23

参 考	日 本
(1) 市歌は小学校長の企図により、作詞は黒川真頼・作曲は上真行。大都市々歌の最初。(東京大1・2。大阪明36・1。横浜明42。名古屋明43・2神戸大5)。校長会これを郷土の歌として生徒に教える。「京都、(1)ちとせのむかしさだめたる平のみやのみやどころちとせの後もたひらかにかくぞさかゆる宮どころ、(2)山もうるはしみやどころ川もさやけしみやどころ花ももみちも山川のきよしうるはし宮どころ、(3)こころの花をうるはしきてわざにみするみやこ人これぞ御国のひかりよとみてこそあふげよものくに」。なお現在歌われているのは、昭和26年作のもの。 本邦洋楽変遷史・京都府教育雑誌	1・1 川上音二郎衆議院議員に立候補するので「荏原郡協同会」名の推薦広告文東京各新聞に掲載。 日出 1・1
(2) 祭典執行のため全国的に寄附会員を募り、豊国会を組織して推進、黒田侯爵会長、期間は4・1奉告祭に始まり、5・31直合式に終る。4・17~20山廟で祭典執行。全市豊国祭踊で賑う。4日間の奉納能楽は太閤垣に舞台を建設し、古今未曾有の盛儀、各流各派を網羅し、出演者218人に及ぶ。茂山千作中心となって事業推進。寄附金総額31,666円余。大祭経費9,890円余、能楽経費3,978円余。一方豊国踊りの湧き上りについて、京都工業同盟会では惣代・藤村岩二郎・横田万寿之助・熊谷孝四郎の名で、数句に亘り子女ら尚盛に踊り廻り、就業中の工場へ踊り込むなどあり、業態沈淪の恐れもあるので注意を加えられたい旨の請願が出された。 狂言八十年、日出 1・10~5・7	1・一 明治音楽会結成(伶人7人、ほか東京音楽学校出身者ら)、第1回演奏会開催。 日本の洋楽百年史、日本の舞踊
(3) 雁治郎ら南座開場は、6・3開場したが、四糸縄手刃で火災、遠慮休業し、9日再開したもののようである。 伊原、歌舞伎年表、日出 6・1、6・11	2・12 大阪歌舞伎座新築、舞台開き団十郎一座で開場(11日開場式)、入場料13円80銭から。団十郎の給金5万円、法外との批判。
(4) 大成団一座・松本政雄・酒井政俊・熱海孤舟・亀井鉄骨・岡田正直・高橋美雄・芳賀秀夫・中山五郎・小松吸江・塩谷実・山田五郎・松沢好之助・高浜清・辻柳太郎・梅本俊郎・野崎三郎。「財産箱十幕」	2・26 7世岸沢式佐没、66歳。
(5) 同志会派の議員が遊廓・興行席の税金に関し、前日、賦金・興行税及び地租割等を減額し、営業税及び戸数割を増額する決議を行ったので、茶話・鴨友両会はこれを不当として応せず、出席しないので、同志会派22名では過半数にならず、中立派の清水吉右衛門の出席を求めたが、同氏は営業税戸数割は減額、地租割を原案に復する条件で出席、審議を行った結果、営業税・戸数割は減額、地租割を原案通り復活。演劇興行税は、上等棧敷5枚分を4枚に、木戸銭20人分を16人分に、遊覧所木戸銭30人分を20人に、芸妓税は3円を2円70銭に娼妓賦金は4円を3円50銭に、貸座敷賦金は最高10円を9円20銭に、最低1円40銭を1円20銭に何れも減額することとなった。	3・23 春木座焼失。
	3・一 市村座で藤沢ら一座、紅葉「金色夜叉」初演。 演劇百科大事典
	4・一 東京奠都三十年祭に長唄組合・新組合野外演奏。
	4・一 豊沢団平没、72歳。
	4・一 滝廉太郎東京音楽学校卒業。
	5・一 ケーベル博士東京音楽学校ピアノ教授(明42・9まで)。
	9・1 女流義太夫豊竹呂昇、東京で初公演(日本橋宮松亭)。
	9・1 川上音二郎・貞奴と二人、小さいボートで築地河岸を出航、海上逃避行企てる、翌年1・2神戸に安着。
	10・一 能楽宝生会舞台開。
	この年
	▷ 小原雲心第一回盛花陳列会を大阪府博物館で開催。
	▷ 「豊国節」流行。

京	都	府
<p>1・1 福井座、六美団(河村黒鷲一座)開場。(5月桃井文夫・島津三郎加入7・8・9月を除き年内続演)。 日出 1・1、2・1、3・1、4・1</p> <p>1・8 金蓮寺で平安クラブ初会開催、泉祐三郎一座余興出演。 日出 1・7</p> <p>1・15 南座浄瑠璃柳適太夫一座開場。 日出 1・15</p> <p>1・16 十字屋楽器店の楽器広告日出に掲載。 日出 1・16</p> <p>1・24 南座、成美団⁽¹⁾で開場(7日千秋楽)。 日出 1・18、25、2・9</p> <p>2・5 坂井座、嵐芳三郎・市川荒太郎・片岡松寿・嵐橋太郎一座開場(3月続演。浅尾関十郎・嵐広三郎加入)。 日出 2・4、3・1</p> <p>2・14 南座、川上音二郎、福井茂兵衛合同演劇開場。⁽²⁾ 日出 2・9</p> <p>2・一 京極座、川上薫一座興行。日出 2・1</p> <p>2・一 夷谷座、正若一座(常打の由尾一座少し人気衰えたので正若・仙昇一座を一年間買い切り興行)。 日出</p> <p>3・1 京都パノラマ館(株式会社)東京で創立総会開催。</p> <p>3・2 西行庵で久保田伯朴庵(遠州流指物師、遠州流を継承)十年忌茶会を門生ら挙行。 日出 3・4</p> <p>3・12 常盤座(株式会社)、改築落成、開場式挙行、14日右団次一座開演。⁽³⁾(4・3千秋楽)。 日出 2・28、3・7、19、4・1</p> <p>3・19、20 有楽館で未生流未真齋門下生花展開催。 日出 3・21</p> <p>3・19 南座、泉祐三郎一座今様能狂言(岩神座興行打上げ後)開場、4・7千秋楽。 日出 3・18、4・9</p> <p>4・1 池の坊門人点取会開催、出席者23人。17、18立花春季大会開催。 日出 4・2、19</p> <p>4・15 常盤座、山口定雄一座開場。(5・8打上げ)。 日出 4・14、5・1</p> <p>4・18 京都婦人慈善会、円山公園三井別荘で第2回開催。唱歌・ヴァイオリンなど余興。 日出 4・19</p> <p>5・1 パノラマ館、茶好・尾半・玉翁俄開場。 日出 5・1</p> <p>5・7 坂井座、白虎隊荒木清一座開場(俳優熱演好評。5・30青木・桂木・堀田と今紫加入続興行開場。6・22芸題替)。 日出 5・3、6・22、29</p> <p>5・8 南座、北京から来た芝居開場。 日出 5・7</p> <p>5・8 壬生狂言(4・21~5・10)に小松宮臨場、狂言師総代石原耕太郎・八木源之丞面謁。 日出 5・10</p> <p>5・14 常盤座、豊竹呂昇一座開演。 日出 5・11</p> <p>5・20 宝座(大宮七条下)昨年焼失1周年に当り施餓鬼を営み、21日から市川雛助・嵐佳昇・</p>	<p>市川右鶴ら一座開場。(前興行大人気11日稲荷祭当夜1,200余の観客で大混雑)。 日出 5・13、21</p> <p>5・16 大黒座(京極座を旧名に改称)、改築竣工開場式。17日川上薫一座開場、(明33・7興行まで続演)。 日出 5・18</p> <p>5・28 三宅八幡社「神楽殿」落成報告祭挙行、茂山社中狂言奉納。 日出 5・30</p> <p>5・一 祇園館、活動写真興行、毎日1,000人内外の入場者、「ドイツ騎兵の演習・米西戦争など」。 日出 5・7</p> <p>6・1~3 今宮神社社殿(数年前焼失)再建、地鎮祭執行、各組屋台を出し、踊りに熱狂⁽⁴⁾、5日まで延期。 日出 5・27、6・6</p> <p>6・11 南座、高田実・小織桂一郎・静間小次郎・木村猛夫・石田信夫・山岡如萍ら合同演劇開場(25日打上げ、30日芸題替)。 日出 6・9、28</p> <p>6・11 常盤座、我当一座開場。 日出 6・10</p> <p>6・11 金剛謹之助芝能楽堂第2回式能に出演、「海人の懐中の舞」を舞う。 日出 5・22</p> <p>7・15 坂井座、市川左文字次一座(左団次門弟)開場。(9・30実川八百蔵を加え開場11月続興行)。 日出 7・31、9・30</p> <p>7・16 祇園會宵山来京者昨年より減退。⁽⁵⁾ 日出 7・17</p> <p>7・19 南座、越路太夫一座浄瑠璃開場。8・2千秋楽。(越路・呂が抜け一座8・5~10日間岩神座で興行)。 日出 7・19、8・2、3</p> <p>8・1~7 常盤座、活動写真興行、毎日取替。 日出 8・1、2</p> <p>8・4 南座、鶴屋団十郎一座俄開場。 日出 8・3</p> <p>8・5~20間 加佐郡教育部会唱歌講習会開催。⁽⁶⁾ 府教育雑誌10月号</p> <p>8・10~16 祇園館、豊竹呂昇一座興行。 日出 8・8</p> <p>8・14 京都クラブで明治音楽会の会員出演慈善音楽大会開催。 日出 8・16</p> <p>8・21~25 祇園館、常盤津林中一座興行。⁽⁷⁾ 日出 8・16</p> <p>9・1 南座、雁治郎一座開場、「新作、英一蝶北窓画談・本朝廿四孝」。 日出 8・17、27</p> <p>9・30 福井座(久しく閉場後)、川崎黒鷲一座、有馬・桃井・佐藤加入し、開場。(11・12月続興行)。 日出 9・25、30、11・15、28</p> <p>10・8~25 南座泉祐三郎今様能狂言興行。 日出 10・6、25</p> <p>10・一 祇園館林中興行の際出演した片山はるら免職問題で紛糾。11月落着。⁽⁸⁾ 日出 10・27、11・12、13、16</p> <p>11・25 大黒座、川上一座開場(座員二三新加入)「積恋余慶孝子政之助十幕」。 日出 11・18</p> <p>11・27 南座福助・雁治郎一座顔見世興行初日。所作事「乗合船」に林中・文字兵衛出勤。(12・17打上げ)。 日出 11・15、25、28、12・20</p>	

京	都	府	日	本
<p>11・28 夷谷座、仙昇・滝次郎・小延童・正若一座開場。 日出 11・28</p> <p>11・30 千本座、片岡市之丞一座開場。 日出 11・29</p> <p>12・1 坂井座、八百蔵一座開場(左文次病氣、郷里伊予に帰る)。12・12。打上げ、一座徳三郎・関十郎を除き、福米座(猪熊上長者町)で興行。(八百蔵ら坂井座に帰り、春興行)。 日出 11・25、28、12・1、14、24</p> <p>12・21~25 南座、越路太夫一座浄瑠璃興行。 日出 12・20</p> <p>12・31 祇園館、共和団奥妻吉一座開場。 日出 12・27</p>	<p>1・12 大阪歌舞伎座焼失(明31新築)。 日出 1・14</p> <p>1・16 4世中村芝翫没、70歳。</p> <p>2・一 初代西川鯉三郎没、77歳。</p> <p>3・4 著作権法公布。(6・28施行法公布)。 木村・近世劇演史</p> <p>4・一 東京音楽学校、高等師範附属学校であったのを改め、文部省直轄とする。</p> <p>4・一 川上音二郎一座洋行。</p> <p>5・24 広島機械商浅海天尚堂で発音機(蓄音器)を発明製造、代価12円。 日出広告 5・24</p> <p>6・一 蓄音器会社三光堂、浅草に開店。</p> <p>6・一 能楽会第2回式能。</p> <p>6・一 歌舞伎座、最初の日本製映画(柴田常吉・浅野四等ら撮影)興行。</p> <p>10・一 明治座、松居松葉の「悪源太」初演、狂言作者外文士作品上演の嚆矢。</p> <p>11・1 歌舞伎座、中幕、団菊の「紅葉狩」、一幕を横田商會が外人の手をかり、座の裏の梅林の空地に舞台を組み映画撮影(この映画は東京大震災後行方不明だったが、中村芝翫が発見、その許に保存の由)。(名優の映画撮影はこの年5月雁次郎の「鳩の浮巢」の紙屑屋幸次がある)。 近世劇壇史</p> <p>11・26 東京音楽学校秋季演奏会。</p>			
参 考				
<p>(1) 南座24日、新演劇開場広告、日出に掲載。出動俳優小織桂一郎・石田信夫・高田実・木村猛夫・佐藤歳三。外小西福一郎。河村飛。井垣増太郎・和田巻二郎・谷芥一・境若狭・小高文衛・浅野平次郎ら三十名。「大名と旗本・夏小袖(モリエール作、守銭奴紅葉翻案)」。2・3、「夏小袖」を「兒貴」(新作喜劇)に葉題替。 日出 1・28、29、30、2・1</p> <p>(2) 音二郎夫妻築地川岸からボートに乗り辛苦をなめて神戸に着く。近く渡政を計画、神戸相生座で決別興行を打ち、川上・福井はこのボートに乗り、神戸一天保山一淀川遡航一鴨川運河を通過して四條南座に乗込む。一座他の連中は汽車で乗込。一座、川上・福井・野崎三郎・松本政雄・吉永豊次郎・小峰松太郎・加藤滝三郎・深沢恒三・野垣清一・三木新次・高橋義雄・丸山完美。</p> <p>(3) 一座は右団次に福助・雁治郎・伝五郎・正若・霞仙・珊瑚郎・玉七・政次郎ら、「加羅千代萩・美濃楠嫩葉軍記・梶原平三試名劔・お染久松」。</p> <p>(4) 目下西陣大不景気ゆえ地鎮祭に踊り廻るのは何事か静肅に参拝すべしと日出新聞に投書もあったが、余興委員より氏子に勧誘、それぞれ趣向をこらし、縮緬地に蝶の大模様友仙の絆天を着た300人の一群など大変な盛況。 日出 5・27、6・6</p> <p>(5) 米価下落地方金詰りのためと思われる、魚類は数日の間に25%高騰、貨物屋は中下等品に著しく傾き、強飯・鯖ずしは売行減少。 日出 7・17</p> <p>(6) 唱歌科講師に熊本師範学校教諭大橋純次郎を聘し55時間講習、受講者70名、オルガン志望者46名あったので9台のオルガン使用受講、またヴァイオリン希望者5名には毎日1時間教授。昨年第1回実施、郡下十数校はオルガン購入した。 府教育雑誌 明32・10</p>				<p>7) 番組、「節句遊恋手習」小金井大夫・芝喜作・「新古演劇十種の内戻橋」咲太夫・己佐吉、「恩愛情関守」、長門太夫・己佐吉、「新曲松廻羽衣」林中太夫・仲助、「乗合恵方万歳」林中・文字兵衛、式三番叟、林中・仲助・舞、井上春子、囃子芸妓連、「えびらの源太」林中・文字兵衛、舞、松本愛子・囃子、芸妓連総踊、「京土産(新作)」総出。 日出 8・16</p> <p>(8) 片山はる・木村まさ・高橋ヤエの女紅場教師3人が、最初慈善興行というので出演したが、普通の興行に変更したので出演が問題化し、免職問題となった。これでは近い温習会も不可能となるので、主催者が片山らに、片山が女紅場側に謝罪すれば一旦免職、再雇いということになり、この間市有力者、女紅場議員らの奔走によってこの筋書で紛糾落着、11月温習会も開催された。 日出 10、11月</p>

京	都	府
<p>1・1 パノラマ館新築落成、弁天座と改称、大阪俄尾半・小半・粟亭玉翁一座開場。 日出 明32・1・15</p> <p>1・25 常盤座、静間一座開場(明34・1 興行まで続演)。 日出 1・24</p> <p>1・31 南座、成美団一座開場。 日出 1・21、30</p> <p>1・一 南座、静間小次郎・望月正義合同一座興行。(20日打上げ)。 日出 1・1、21</p> <p>1・一 祇園館、泉妻吉一座興行。日出 1・1</p> <p>1・一 坂井座、八百蔵ら一座(2・3月 続興行)。福井座、梅曉・梅昇・友吉・花松ら女芝居。大黒座、川上薫一座、6月興行まで、再び10、11、12月 続演。</p> <p>1・一 (西陣方面) 岩神座、中村小陣一座・千本座、片岡市の正一座・寿座桜井一座。(何れも2月 続興行)、北座、川崎鷺一座。 日出 1・1、2・1</p> <p>2・4 茂山忠三郎社中、神宮奉齋会(寺町四条下)で狂言奉能。 日出 2・2</p> <p>2・26 寿座(大宮寺之内西)、出火全焼。⁽¹⁾ 日出 2・27</p> <p>2・28 福井座、布袋座と改称、2・9 開演の嵐玉蔵・中村仲七ら女芝居一座に仙歌・国松・花松・仲吉を加え開場。(前興行の梅曉一座は福栄座に出演)。 日出 2・28</p> <p>3・1 南座、高田実一座⁽²⁾ 開場。3・11 千秋楽(23日 呂昇一座 浄瑠璃開場)。 日出 3・14、21</p> <p>3・1 祇園館、市川荒五郎が組織した大阪の子供芝居、陸会尾上楽之助一座開場。 日出 3・1、14</p> <p>3・27 岩神座、泉祐三郎今様能狂言開場。 日出 3・27</p> <p>3・30 坂井座、芸題替、中村福平を加え開場(4・18 打上げ、岩神座で一⁽⁴⁾ 週間興行のち坂井座へ戻り興行)。 日出 3・18、23、4・18</p> <p>3・一 興行場・寄席過当な興行税に軽減を運動。⁽³⁾ 日出 3・9</p> <p>3・一 府師範学校附属小学校では、情操教育、詞の理解、音曲の歌い易いことなどを基準に、唱歌教授細目を制定。府教育雑誌、明33・3</p> <p>3・一 夷谷座、正若・仙昇一座興行。本年中 続演。 日出</p> <p>4・6 浄教寺(寺町四条下)で平曲会(藤村性禪の重陽社)開催(月例開催の様子)。 日出 4・5</p> <p>4・15 清水寺成就院で金剛謹之助・巖ら能狂言奉納。 日出 4・13</p> <p>5・1 南座、活動写真開場。日出 5・1</p> <p>5・2 祇園館、盲啞院慈善音曲会開催。 日出 4・21</p> <p>5・8 京都クラブで未生流末真奔社中の大会開催。 日出 5・9</p>	<p>6・13 南座、福助・雁治郎一座開場(20日 過から客脚落ち、28日 千秋楽ときめたが、ひいきの客の勧めで30日 打上(大阪朝日では7・2 千秋楽)。 日出 6・12、27、28</p> <p>6・19 布袋座(元福井座)、泉妻吉一座開場。 日出 6・20</p> <p>6・20 坂井座、三府女流諸芸大寄開場、一週 間興行。 同上</p> <p>7・1 市川滝三郎(坂井座へ出勤)は息子若滝を座長とし、子供一座を作り、井筒座(蛸薬師 新京極東)で興行開場。 日出 6・27</p> <p>7・22 南座、越路一座 浄瑠璃開場(8・3 打上)。 日出 7・21、27</p> <p>7・29 夷谷座主杉本五兵衛没。75歳。 杉本家記録</p> <p>7・31 祇園館、泉妻吉一座開場(21日 打上)。 日出 7・30、8・4</p> <p>7・一 坂井座改造の要警察から厳達、資金の都合で祇園館を買収移築改造の件交渉(祇園館 8・25日 限り 廃座届を松原署へ提出)。⁽⁵⁾ 日出 8・3</p> <p>8・7 南座、鶴屋団十郎一座 俄開場。 日出 8・4</p> <p>8・8 弁天座、劇場となったので、開場式 挙行。市川若滝ら一座の子供芝居⁽⁶⁾ で開場。 日出 8・9</p> <p>8・10 千本北座、壮士芝居今枝恒吉一座開場。(9月 続興行)。 日出 8・9、9・10</p> <p>8・14 岩神座、正義団堀田六象一座開場。 日出 8・9</p> <p>8・21 南座、文楽座玉造・紋十郎一座と京都の半玄人浄り連との合併 人形浄瑠璃開場(8・30、31 休み、9・1～3 日間 続興行のち 打上。9・8 日から千本座で興行)。 日出 8・23、31、9・8</p> <p>8・26～29 夷谷座、杵屋六左衛門・芳村伊十郎の興行。(29日は大入日 延べの興行)。 日出 8・26、29</p> <p>8・31 岩神座、泉一座開場。(本年中 続演)。 日出 8・30</p> <p>9・16 南座、佐藤歳三一座開場。(10・5 打上げ。あと10・15まで 活動写真興行、「回向院の相撲 など」、好人気)。 日出 9・8、10・1、10</p> <p>9・一 坂井座・布袋座 改策中。日出 9・1</p> <p>10・1 千本北座、八百蔵・滝三郎・広三郎一 座開場。 日出 10・1</p> <p>10・20 常盤座、静間一座の「可憐嬢」を日本 絹絲紡績会社 職工500人 観劇。 日出 10・21</p> <p>10・21 日曜に当り 劇場観客数、常盤座 1,700 人・大黒座 582・夷谷座 748・弁天座 300。 日出 10・23</p> <p>10・26～11・3 南座、泉祐三郎今様能狂言 興行。 日出 10・29</p> <p>11・13 布袋座、改築成り、開場式 挙行、荒太 郎ら一座、14日 初興行(芸題替え 12月 まで 続興 行)。 日出 11・11、11・29</p>	

京	都	府	日	本
<p>11・19 祇園歌舞練場、温習会最中、東二階 棧敷墜落、重傷 3、軽傷 10人。⁽⁷⁾ 日出 11・21</p> <p>11・28 坂井座改築につき、大谷竹次郎が祇園 館を買収移築、歌舞座と命名開場式 挙行。⁽⁵⁾ (12 月 続興行)。 日出 12・1</p> <p>11・28 南座、顔見世開場、福助・雁治郎一座。 林中・文字兵衛 出勤(12・18 打上)。 日出 11・15、28、12・18</p> <p>11・一 「能楽謡曲奨励会」⁽⁸⁾ (大江又三郎 発起、 観世流職分一同協力) 設立。 日出 11・17</p> <p>12・1 各興行場 観客数、歌舞伎座 2,608・南 座(昼) 1,110(夜) 1,840・夷谷座 1,418・常盤 座 1,273・大黒座 710・弁天座 650・布袋座 711人。 日出 12・3</p> <p>この年 ▷ 「遠州会」 発会(数年で衰微、大 4 年 復興)。 茶道辞典</p>	<p>1・一 演劇雑誌「歌舞伎」(三木竹二主宰) 刊。</p> <p>3・一 吉沢商店、国産映写機 発明。</p> <p>4・14 新富座、武知元良(名古屋生れの書生 俳優)一座開場、中幕「玄武門」に、門破りを行 った原田重吉自ら 出演。</p> <p>5・1～3 奈良興福寺 薪能復興 開催、(金春 八郎・磯吉・生一 左兵衛・大西鑑一郎ら 出演)。 日出 4・27</p> <p>6・一 滝廉太郎 留学(明35・10 帰朝、明36・6・ 29 没、25 歳)。</p> <p>6・一 川上音二郎、一座 ロンドンで 興行中、 6・27、パッキンガム 離宮でイギリス皇太子 上覧、 閉幕後音二郎 1,000ポンド 賜る。 日出 8・7</p> <p>8・一 初世三遊亭 円朝 没、62 歳。</p> <p>8・一 横田永之助 渡仏、パテー 映画を 契約。</p> <p>10・8 幾山 檢校 没。現代 邦楽名鑑 三曲 篇</p> <p>11・1 川上音二郎 一座 パリ 博覧会で 上場、フ ランス政府から オフィシエ・ダカデミ 三等 勲章を 受贈。 日出 12・13</p> <p>11・一 劇場取締 規則 発布(興行権は 座主以外 不許可・脚本 検閲を 強化。小劇場に 廻り 舞台など 大道具 使用不許可の 制限 撤廃・興行 時間 8 時間だ ったのを 9 時間(日の 出から 午後 12 時までの 間) に 改正。 この年 ▷ 「しのめ節」 流行。以後 10 年間 続く。</p>			
<p>参</p> <p>(1) 寿座 26 日 午前 2 時 40 分 出火、前夜 西陣の 素人 舞凌え会 催し 後 始末の 失態が 原因、類焼 19 戸、半 焼 4 戸、損害 4 万円。 日出 2・27</p> <p>(2) 芸題「浮世 目鏡 八幕・日清 戦争 玄武門 二幕」 座員、木村 猛夫・山沢 三郎・小中村 又三郎・石田 信夫・東明 二郎・高井 清・倭輝 久雄・高田 実、「玄武門」では 実戦に 勇名を 馳せた 原田重吉 出演。 同上</p> <p>(3) 新京 極 以外の 興行 席の 33 年度 課税 額は 前年 の 倍を 超える 増税と なっている。 京都 興行 同盟会 では 協議の 上市会 へ 減税 嘆願。 南座 常盤座 等の 劇場 は 却って 減額と なっている のに 寄席 など 何れも 倍額 である。もし 容れられ なければ 新京 極 各席は 4・1 日 から 閉業し 他地方 へ 出稼を するとの 意気 込。 日出 3・9</p> <p>(4) 福円・関 十郎・広三郎・滝 十郎 一座は 7・21 打上げ 23、24 の 両日 俳優 浄瑠璃 会を 開催 それまで 続き 興行 した、その 間、6 月 18 日 から、30 日 坂井 座での 次興行 開場まで、 岩神座 で 興行 した。 坂井 座は、上 記 浄瑠璃 会 終了 後 警察の 命令 により 改造 に 着手。 日出 6・20、7・24</p> <p>(5) 祇園 館は 明25・1 新地 女紅場 役員 組合が 座主 高木 文平 から 買取り、 経営 したが、 興行 内容も 雑多な ものを 行き 当たり ばつり に行って、 恒常的 に 良い 興行者 も 附かなか ったよう で、土地 柄もある のか、 客脚も 常ならず、 所有者 も 持ちあ ぐんだ ようで 売物に 出していた。 一方 坂井 座は 座主 西尾 ちかから、 抵当 流れで 金貸 大浦 新太郎 の 所有に 帰し、 大谷 竹次郎 の 父 栄吉に 譲渡の 話があり、 竹次郎 と 直接の 談合で、 金は 後でも よいとい うことで 若冠 23 歳の 竹次郎 が 座主の 座を 占めた。 しかし 建物は 古くなり 警察から 改築を 迫られ、 7 月 興行 不認可</p>	<p>ノの 目に 陥った。 この 時や はり 大浦 から 祇園 館が 売 りに出 ている 話を 聞き、 重ねて 大浦 から 借金 して 祇園 館を 坂井 座に移 し 改築、 立派な 劇場を 実現し、 その 時から 歌舞 伎座と 名命 した。 開場 式は 11・28 挙行。 披露 興行は 延二 郎一 座に 雀三 郎・時 蔵・和 三郎・ 関十 郎・広 三郎・ 実川 八百 蔵ら を 加え、 「人切 上戸・ 松浦の 太鼓・ 極附 幡隨 院長 兵衛・ 彦山 権現 誓助 剣」 上演。 松竹 七十年 史・脇 屋、大 谷竹次 郎 演劇 六十年</p> <p>(6) 嵐和 三郎・ 尾上 卯之 助・尾 上梅之 助・中 村玉之 助・尾 上鶴太 郎・坂 東豊 升・嵐 巖之 介・市 川若 滝ら 一座。 日出 9・19</p> <p>(7) 歌舞 練場は 明 6 建築、 明23 大修 繕。温 習会は 両棧 敷を取 外し、 21 日 修理 完了、 22 日～ 4 日間 開催。 日出 11・21、23</p> <p>(8) 会則。 能楽・ 謡曲 奨励の ため 1 カ年 5 回(11・ 2・5・7・9 月) 素謡・ 独吟・ 一調・ 仕舞・ 能狂 言を行 う。会費、 通常年 1 円、 特別 1 円 50 銭など。 日出 11・17</p>			

京	都	府
<p>1・1 歌舞伎座時蔵・延二郎・雀三郎ら一座開場。22日打上げ、(2・3・4月続演)。日出 12・10、1・21、23、2・24</p> <p>1・1 弁天座、岡本美代司一座源氏節。27日から実川延昇一座の東洋歌舞伎青年会で開催。(2・11打上げ)。日出 12・27、1・27、2・13</p> <p>1・1 布袋座、泉妻吉ら一座開場(11・8日まで続興行)。日出 1・1、1・16</p> <p>1・1 夷谷座、正若・若橋開場。2月興行は1・31開場で嵐三五郎・尾上卯三郎・芳三郎・仙昇・関十郎ら一座、3・4月三五郎抜け、続興行(このとき、夷谷座は松竹の所有経営)。日出 1・1、2・10</p> <p>1・15 南座今枝恒吉一座開場。日出 1・15</p> <p>1・一 歌舞伎「俳優組合」設立を仙昇・関十郎・正若ら発起人となり奔走。(9・27円山平の家で発会式)。日出 1・23、9・13</p> <p>2・1 常盤座、正若・若橋一座開場。3・4月興行続演)。日出 2・3、3・2</p> <p>2・1 大黒座、川上薫一座開場。(3・4月続演。5・21～25岩神座で興行)。(大黒座のあとは沢村源之丞一座)。日出 2・3、2・14、5・16</p> <p>2・1 南座、泉祐三郎一座今様能狂言開場(2・15打上げ、あと岡本美代治源氏節。泉一座は2・19～3・7岩神座で興行)。日出 2・3、3・9</p> <p>2・19 大虎座改築の起工式挙行(舞台取壊わしは7・8の頃)。日出 2・21</p> <p>2・25 茂山千五郎北野神社菜花祭能楽創始、催能。日出 2・23</p> <p>3・4～13 南座、川上音二郎一座、「洋行中の悲劇・武士的教育」上演。(大入り、3日間日延へ興行)。日出 3・5、10、13</p> <p>3・22～4・3 南座、福助・延二郎一座興行(4・13～23佐藤歳三一座興行)。日出 3・20、4・5、9、23</p> <p>4・10 清凉寺大念仏会寄附の舞台新築落成、茂山社中狂言尽し奉納。日出 4・10</p> <p>4・21 東本願寺法要結願に当り、宮内省雅楽部舞楽奉納(林広継・山井基方・辻高範外29名)。日出 4・20</p> <p>4・20 島原座、新築落成⁽¹⁾(株式組織)開場式挙行、21日延二郎・雀三郎一座初日、27日打上。(あとへ5・1日から佐藤歳三一座興行)。日出 4・24、26、27</p> <p>5・1 南座、雁治郎・福助一座開場。(6月も13～23興行)。日出 5・2、6・11、25</p> <p>5・1 夷谷座、正若・若橋一座戻り開場。6・20まで続演。日出 4・24、5・22</p> <p>5・1 大黒座、沢村源之丞一座開場(6月続演。また9・1から本年中出動)。日出 4・28、5・31</p> <p>5・1 弁天座、薩摩太夫・七五三太夫・玉造ら人形浄瑠璃開場(6月続演。のち千本北座)。日出 4・23、5・20、6・12</p>	<p>5・1 常盤座、静間一座開場。(5・25二の替り)。日出 4・21、5・21</p> <p>5・1 歌舞伎座、延二郎・雀三郎・菊二郎一座開場。(6・7月続演、林中・文字兵衛出動)。日出 5・1、16、26</p> <p>5・1 中村仙昇没。⁽²⁾ 67歳。日出 5・3</p> <p>6・6 常盤座、出火全焼⁽³⁾、隣りの弁天座類焼。日出 6・7</p> <p>6～13～23 南座、雁治郎・福助一座開場。日出 6・9、23</p> <p>6・21～7・3 夷谷座、横田永之助が欧州から持帰った軍事的教育活動写真興行。(7・12、13岩神座で興行)。日出 6・22、27、30、7・13</p> <p>6・23 京都クラブ「国風音楽会」開催、鈴木鼓村・樋口孝道・藤村性禪ら出演。日出 6・23</p> <p>6・26 劇場興行場取締規則改正令公布。⁽⁴⁾ 府令55号</p> <p>7・1 大席座、改造工事着手(取締規則に従えば大がかりで困難、内部外部と2度に分離)。(俄常打一座新玉ら、1日から宝座(大宮)、15日から岩神座、と諸方へ出動)。(落成、開場式9・29、10・1から開場)。日出 6・28、7・11、10・2</p> <p>7・9 大谷・白井の父大谷栄吉葬儀、(正若一座白袴、延二郎ら稚児姿、静間ら18人麻の筒袖・木綿袴・編笠を着し会葬)。日出 7・10、11</p> <p>7・10 千本座改築(日本造り2階建・間口8.5間・奥行14・舞台奥行4、24日上棟式。8・30落成、開場式。9・1開場。座附片岡市之正一座に天満座の駒之助加入)。日出 7・10、25、8・10</p> <p>7・31 大黒座、木村猛夫一座開場(本年中続演)。日出 7・25、12・13</p> <p>8・1～11 南座、越路太夫一座興行。日出 7・31、8・11</p> <p>8・2 歌舞伎座、福井茂兵衛・木村猛夫一座開場(8・22打上げ)。日出 7・23、8・19</p> <p>8・3 下鴨出町橋東詰で、千本北座興行中の川上信太郎一座納涼芝居。日出 8・3</p> <p>8・一 浮れ節席十数軒組合「同盟会」結成、改良企図。日出 8・19</p> <p>9・1 歌舞伎座、延二郎一座開場(10・25東京へ行くまで続演)。日出 9・1、10・26</p> <p>9・13～11・6 岩神座、静間一座(金泉客員)興行。日出 9・8、11・8</p> <p>9・18～10・3 南座、呂昇一座。10・6～17泉祐三郎一座、10・20～27活動写真興行(呂昇は10・4から3日間千本北座で興行)。日出 9・10、10・4、7、14</p> <p>10・31 歌舞伎座、徳三郎一座開場。⁽⁵⁾ 日出 10・27</p> <p>11・1 大席座、菊和郎一座俄開場。(12・23東玉・新玉・尾半一座。日出 11・1、12・23</p> <p>11・1 南座、静間・金泉・村田・木村一座、故矢ツ車追善興行。日出 11・1</p> <p>11・25 新京極都座改築落成開場式。日出 11・10</p>	

京	都	府	日	本
<p>11・28～12・10 岩神座、泉祐三郎、野村亀太郎⁽⁹⁾の今様能狂言興行。日出 11・30、12・8</p> <p>11・29 南座、顔見世雁治郎・福助一座開場。(12・16大入り日延べして打上げ)。日出 12・17</p> <p>11・29 歌舞伎座、右団次一座に団蔵加入、開場(12・15打上げ)。(18日から東京岩井倉之丞一座大神楽)。同上</p> <p>12・7～10 布袋座、七五三太夫興行。日出 12・11</p> <p>この年 ▷ 小松宮、仁和寺に華道復興を命令。高、いけばな</p>	<p>11・28～12・10 岩神座、泉祐三郎、野村亀太郎⁽⁹⁾の今様能狂言興行。日出 11・30、12・8</p> <p>11・29 南座、顔見世雁治郎・福助一座開場。(12・16大入り日延べして打上げ)。日出 12・17</p> <p>11・29 歌舞伎座、右団次一座に団蔵加入、開場(12・15打上げ)。(18日から東京岩井倉之丞一座大神楽)。同上</p> <p>12・7～10 布袋座、七五三太夫興行。日出 12・11</p> <p>この年 ▷ 小松宮、仁和寺に華道復興を命令。高、いけばな</p>	<p>1・1 渡米各地巡業した川上音二郎一行13名(三上・丸山客死)帰国神戸着。1・30大阪朝日座で大一座組織、「洋行中の悲劇(渡米中の出来事を脚色)、華国革命史」上演。棧敷一間16円、前代未聞。2・18市村座で開場、二番目は「武士的教育」。4・6川上外18名再び渡欧。明35・9月帰国。近世劇壇史</p> <p>1・10 3世河竹新七没、60歳。</p> <p>1・一 川上貞奴がパリで夜会に出たときの服装を「奴服」と称し、流行を作ろうと川島織物へ紹介文来着。日出 1・20</p> <p>1・一 川上座、改良座と改称。</p> <p>2・一 芦花作「不如帰」、大阪朝日座で、喜多村緑・高田実一座初演。</p> <p>5・一 清元お葉没、62歳。</p> <p>5・一 イギリス、グラモフォン社、築地メトロポールホテルで、雅楽を初め邦楽・俗曲・落語を録音。</p> <p>8・6 新富座、静間小次郎一座興行。</p> <p>8・28 講釈師松林伯竜世界漫遊して帰朝。講釈師最初の漫遊。日出 9・15</p> <p>12・一 2世鶴沢清六没、64歳。</p> <p>この年 ▷ 横浜雲井座・横浜羽衣座・横浜座・高松市、浜松市、名古屋に歌舞座など開場。 ▷ 演歌衰微、演歌師本部(新富町の青年クラブ)解散。 ▷ 中学唱歌「滝廉太郎作曲、箱根八里・荒城の月など」刊。「音楽の友」創刊。 ▷ 「講談倶楽部」創刊。</p>	<p>1・1 渡米各地巡業した川上音二郎一行13名(三上・丸山客死)帰国神戸着。1・30大阪朝日座で大一座組織、「洋行中の悲劇(渡米中の出来事を脚色)、華国革命史」上演。棧敷一間16円、前代未聞。2・18市村座で開場、二番目は「武士的教育」。4・6川上外18名再び渡欧。明35・9月帰国。近世劇壇史</p> <p>1・10 3世河竹新七没、60歳。</p> <p>1・一 川上貞奴がパリで夜会に出たときの服装を「奴服」と称し、流行を作ろうと川島織物へ紹介文来着。日出 1・20</p> <p>1・一 川上座、改良座と改称。</p> <p>2・一 芦花作「不如帰」、大阪朝日座で、喜多村緑・高田実一座初演。</p> <p>5・一 清元お葉没、62歳。</p> <p>5・一 イギリス、グラモフォン社、築地メトロポールホテルで、雅楽を初め邦楽・俗曲・落語を録音。</p> <p>8・6 新富座、静間小次郎一座興行。</p> <p>8・28 講釈師松林伯竜世界漫遊して帰朝。講釈師最初の漫遊。日出 9・15</p> <p>12・一 2世鶴沢清六没、64歳。</p> <p>この年 ▷ 横浜雲井座・横浜羽衣座・横浜座・高松市、浜松市、名古屋に歌舞座など開場。 ▷ 演歌衰微、演歌師本部(新富町の青年クラブ)解散。 ▷ 中学唱歌「滝廉太郎作曲、箱根八里・荒城の月など」刊。「音楽の友」創刊。 ▷ 「講談倶楽部」創刊。</p>	
<p>参</p> <p>(1) 島原に劇場新築の話は明32に起ったが、漸く実現した。遊廓の外大門の近くに建てられ、間口10間・奥行19間、席数棧敷40、出孫36、場117。初舞台は橋三郎が口上を述べた。 そのあと5・1日から佐藤歳三一座興行。「畜生腹五幕・金が敵二幕」、5・20二の替り。棧敷を廃し、1～4等に区分、6月からランプを電灯に変える交渉を行う。一座は7月14日女芝居開場まで続演。日出</p> <p>(2) 永く夷谷座に出動、正若一座の上置となっていた。また三五郎・卯三郎一座に加わり、宗十郎門弟の古参として重視されていた。心臓病で円山保養園で療養中死去。日出 5・3</p> <p>(3) 株主は一同解散説を唱えていた。6月25日重役会開催、26日共楽館で株主総開招集、この日は協議会となし方針審議したが解散に一致、更に7月15日臨時総会開催解散を議決、19日精算人に事務引続。爾後の処置は株主の一人平井権七が土地を買い入れ、同人所有地の弁天座敷地と合せて完備した大劇場建築の意向。8・27日常盤座跡地入札、興行人河島忠正が落札、9・11日「京都大劇場」という名称で平井権七が座主、河島が興行名代人の名義で建築出願。従来新京極にあった入口を六角通に変更、新京極に面し借家を建てる計画。焼跡に仮小屋を設け娘玉乗・女芝居を興行。日出 6・17～9・11</p> <p>(4) この規則は、劇場・興行場の構造設備・興行制限・観客心得を詳細に規定した32条に亘るものである。京都興行同盟会では対応策を練り、建物の前面には3間以上、左右には1間半以上の空地をとる箇条(同法12条1項)については、三分の一に縮め、防火設備として、井戸4カ所掘り、高瀬川添いに蒸汽ポンプを備えることなど協議。日出 6・30</p> <p>(5) 屋「雪と炭十幕・中將姫雪責一幕」夜「加茂川染文色絹十幕・日高川鐘廻入相」(雪と炭猥褻のかどで訂正を命ぜらる)。徳三郎・滝三郎・広三郎・和三郎・家寿・仙松・徳十郎・関之助・関十郎。</p>	<p>考</p> <p>(1) 島原に劇場新築の話は明32に起ったが、漸く実現した。遊廓の外大門の近くに建てられ、間口10間・奥行19間、席数棧敷40、出孫36、場117。初舞台は橋三郎が口上を述べた。 そのあと5・1日から佐藤歳三一座興行。「畜生腹五幕・金が敵二幕」、5・20二の替り。棧敷を廃し、1～4等に区分、6月からランプを電灯に変える交渉を行う。一座は7月14日女芝居開場まで続演。日出</p> <p>(2) 永く夷谷座に出動、正若一座の上置となっていた。また三五郎・卯三郎一座に加わり、宗十郎門弟の古参として重視されていた。心臓病で円山保養園で療養中死去。日出 5・3</p> <p>(3) 株主は一同解散説を唱えていた。6月25日重役会開催、26日共楽館で株主総開招集、この日は協議会となし方針審議したが解散に一致、更に7月15日臨時総会開催解散を議決、19日精算人に事務引続。爾後の処置は株主の一人平井権七が土地を買い入れ、同人所有地の弁天座敷地と合せて完備した大劇場建築の意向。8・27日常盤座跡地入札、興行人河島忠正が落札、9・11日「京都大劇場」という名称で平井権七が座主、河島が興行名代人の名義で建築出願。従来新京極にあった入口を六角通に変更、新京極に面し借家を建てる計画。焼跡に仮小屋を設け娘玉乗・女芝居を興行。日出 6・17～9・11</p> <p>(4) この規則は、劇場・興行場の構造設備・興行制限・観客心得を詳細に規定した32条に亘るものである。京都興行同盟会では対応策を練り、建物の前面には3間以上、左右には1間半以上の空地をとる箇条(同法12条1項)については、三分の一に縮め、防火設備として、井戸4カ所掘り、高瀬川添いに蒸汽ポンプを備えることなど協議。日出 6・30</p> <p>(5) 屋「雪と炭十幕・中將姫雪責一幕」夜「加茂川染文色絹十幕・日高川鐘廻入相」(雪と炭猥褻のかどで訂正を命ぜらる)。徳三郎・滝三郎・広三郎・和三郎・家寿・仙松・徳十郎・関之助・関十郎。</p>			

京	都	府
<p>1・1～3・16 歌舞伎座、市十郎・徳三郎・関十郎・滝三郎・広三郎・和三郎ら一座興行（一座岩神座で2月興行。4月歌舞伎座に戻り興行。5月興行長太夫・福之助加入。7月興行から滝三郎抜け、延二郎加入、9・16まで続興行）。 日出 1・1、3・20、29、9・14</p> <p>1・1 夷谷座、福井・静間一座開場（2・1正若・若橋・延三郎一座開場、21日打上げ。延三郎・黒市・正若・三五郎ら一座。4・1～11・21（9月を除く）続興行）。 日出 1・1～3・24</p> <p>1・1 南座、簗助・八百蔵一座開場（2月興行は子供芝居）。 日出 1・1、2・6</p> <p>1・1 明治座、橋三郎・多見蔵・正若・若橋一座で新築披露興行開場。⁽¹⁾ 日出 1・1</p> <p>1・1 大黒座、木村猛夫一座開場。2・10から村田正雄一座。3・14から川上薫加入。28日打上。4月興行はダーク一座の操人形。 日出 1・1、2・8、3・30</p> <p>1・13 大和万歳岡田平四郎・宮本重平（北葛城郡広瀬村）例年通り女紅場・万亭・鳥居本など歴訪。 日出 1・14</p> <p>1・27 明治座、福井・静間・金泉一座開場（9・12月を除き一座で続興行）。 日出 1・28</p> <p>1・一 千本座、市之正一座に泉一座の梅昇（野村龜太郎加入、12・30開場）。 日出 1・1</p> <p>2・24 大黒座の俄本日から「雪中行軍⁽²⁾」を加える。 日出 2・24</p> <p>2・27 井田五条警察署長、京都演劇改良会組織のため、受樂亭に各劇場仕打・俳優・頭取を集め協議。 日出 2・28</p> <p>3・11 南座、我当一座開場（3・28打上）。 日出 3・1、28</p> <p>4・17 夷谷座々主杉本と仕打白井とは一カ年貸借契約延長。 日出 4・7</p> <p>4・30 島原座創立1周年に当り、京阪子供芝居開場。市川小鯉・実川百々松・市川市松郎・嵐徳正・中村新若・中村小雀・中村玉次郎・尾上卯之松・市川八百次ら。 日出 4・21、30</p> <p>5・1～5 北野神社千年祭挙行。盛大、町組・各種団体趣向をこらし踊り行列。 日出 4・30</p> <p>5・1 岩神座、川上薫一座開場（6月続演）。 日出 5・1、6・12</p> <p>5・6 新京極の興行雑誌「百舞台」⁽⁴⁾創刊。 日出 5・7</p> <p>5・31 千本座、団之助・昇之助・団司一座女義太夫開場（一座6・11から布袋座、7・5から西陣座へ出演。昇之助・昇菊抜け、綱吉加入）。 日出 5・30</p> <p>6・1 第1福真亭、吉田奈良丸出演。 日出 5・31</p>	<p>6・13 大黒座、白井・大谷が2ヶ年借用契約。（布袋座も白井が2ヶ年借用契約）。 日出 6・5～8</p> <p>6・16 幾代亭、本日から改良実行。⁽⁵⁾ 日出 6・16</p> <p>6・19～7・8 南座、雁治郎・福助一座興行。 日出 6・18</p> <p>7・8～10 先斗町歌舞練場で泉祐三郎一座、平安孤児院慈善興行。 日出 7・5</p> <p>7・10 大黒座、川上薫一座開場（川上東京で叔父葬儀のため俄に打上）。 日出 7・10、14</p> <p>7・16 幾代亭の文屋・小文枝・座主、島文学士に、落語の心得受講。 日出 7・16</p> <p>7・一 「京都音楽会」設立。（府師範学校、吉田恒三・第二高小、寺町六郎ら。大2第19回演奏会まで存続）。 京都音楽史</p> <p>8・27～31 南座、杵屋六左衛門・芳村伊十郎・常盤津駒大夫・岸沢九蔵・中村明石・猿若衆三郎・若柳吉蔵ら興行。⁽⁶⁾（南座は9月興行、不潔と改修を要する理由で不認可）。 日出 9・2</p> <p>8・31 明治座、静間一座開場。素人出の女優1名加入。（9・22～10・8 団蔵・我童ら一座興行）。（この間静一座歌舞伎座で興行）。 日出 8・31、9・21、22</p> <p>8・一 源氏節取締厳しく、凋落。</p> <p>9・10 千本座、改修落成、片岡市之正一座（黒市・幡市上置）で開場式挙行（10・8 黒市一座開場）。 日出 9・10、10・8</p> <p>9・13 岩神座、崩壊の危険、本日から改築するまで使用禁止。 日出 9・14</p> <p>9・17～29 南座、福井茂兵衛・木村猛夫・村田正雄ら改良演劇興行。「高安月郊作月照」・「闇の光」上演、木下京大総長・市長・市会議長他学者・教育者ら招待。 日出 9・8、18、26、27</p> <p>10・25 京都文楽座株式組織で設立、歌舞伎座北に敷地選定建坪160坪。</p> <p>10・一 表千家、東京出張所設立。茶事年鑑</p> <p>11・1 明治座、藤沢一座新演劇開場。尾崎紅葉・長田秋濤共訳「寒牡丹」・紅葉作「隣の女」上演。（11・15から呂昇一座）。 日出 10・26、30、11・14</p> <p>11・9 第2福真亭、義太夫奨励会を設け、第1回開催。（第1・第2福真亭、8・1から扇風機使用）。 日出 8・2、11・11</p> <p>11・22～24 片山能舞台開能会（室町夷川上）。 日出 11・21</p> <p>11・22～26 夷谷座、呂昇一座。（29～12・17福井一座。月郊作「大塩平八郎」・「モリエール原作タルチュフ、島華水訳・脚色「偽紫」上演」。背景浅井忠監督）。 日出 11・28、29、12・17</p>	

京	都	府	日	本
<p>11・25～12・12 南座、右団次・我当一座興行。 日出 11・16、12・10</p> <p>11・26 歌舞伎座、延二郎・正若合同興行開場。 日出 11・19、26、12・18</p> <p>12・1 明治座、団蔵・橋三郎・雁治郎・福助一座開場。12・15打上。 日出 11・16、12・16</p> <p>12・3～10 大黒座、キネトフォン興行。 日出 12・3</p> <p>12・31 歌舞伎座、福之助・関十郎一座に駒之助・成若加入開場。 日出 12・24、31</p> <p>12・31 夷谷座、荒太郎・正若一座開場。（幕間短縮など改良）。 日出 12・25、31</p> <p>12・31 明治座、静間一座開場。 日出 12・25</p>	<p>11・25～12・12 南座、右団次・我当一座興行。 日出 11・16、12・10</p> <p>11・26 歌舞伎座、延二郎・正若合同興行開場。 日出 11・19、26、12・18</p> <p>12・1 明治座、団蔵・橋三郎・雁治郎・福助一座開場。12・15打上。 日出 11・16、12・16</p> <p>12・3～10 大黒座、キネトフォン興行。 日出 12・3</p> <p>12・31 歌舞伎座、福之助・関十郎一座に駒之助・成若加入開場。 日出 12・24、31</p> <p>12・31 夷谷座、荒太郎・正若一座開場。（幕間短縮など改良）。 日出 12・25、31</p> <p>12・31 明治座、静間一座開場。 日出 12・25</p>	<p>1・一 慶応大学ワグネル・ソサイエティ、オーケストラ第1回演奏会。</p> <p>1・一 白井松次郎・大谷竹次郎兄弟の松竹合名社設立。</p> <p>2・18 関西大茶会の一、十八会（関西名流18人が組織、毎月席を持ち廻り明37一時解散、のち復活、このとき第18回）。</p> <p>3・25～4・25 北野神社千年祭万灯会、三千家連日献茶。</p> <p>3・一 真砂座で、伊井・河合・馬十・璃宗ら、近松研究劇開創。</p> <p>4・12 南葵文庫開庫式挙行。</p> <p>5・10 長唄芳村伊三郎没。</p> <p>5・27 大阪演劇協会発会。</p> <p>5・一 池内信嘉上京、「能楽クラブ」を置く（9月発会式）。</p> <p>7・一 雑誌「能楽」創刊。</p> <p>8・19 4世吉住小三郎・3世杵屋六四郎ら長唄「研精会」結成。</p> <p>8・27 大阪演劇協会南地演舞場で発会式挙行。京都演劇改良会の高木文平・吉本権次郎・大谷竹次郎出席。</p> <p>9・9 芸能楽堂靖国神社へ奉納、九段能楽堂と改称。</p> <p>9・一 吉沢商会、明治座で発声活動写真（レコード併用）興行。</p> <p>10・27 歌舞伎作者勝蔵没、59歳。</p> <p>10・一 表千家東京麹町出張所設立。</p> <p>11・一 東京音楽学校秋季演奏会にシューベルト「未完成交響楽」演奏。</p> <p>11・一 大蔵山本流東没、67歳。</p> <p>この年 ▷ 「嗚呼玉杯」・演歌、「四季の歌」流行。</p>	<p>（1）明34・6・6 常盤座焼失の参項事項で触れたのは、新築開場に至るまでの半ばであったので開場の記事に因んで経緯の後半をここに記しておこう。9・29 座主名代人河島（歌舞伎座・夷谷座の名代人でもある）が新築請負を決定したが、10・20（日出）に名称を「明治座」と変更、新築工事願を河島に代って代理人吉本権次郎が五条署へ提出、19日保安課へ書類が廻ったという記事がある。敷地445坪、建坪240坪というので、元の常盤座のみの敷地に建てられたことが知られる。工事は昼夜兼行で、10・11上棟式、12・25竣工検査、一二手直しという経過を辿り、この間に、旧株式会社清算（12・10臨時総会を開催、解散承認）事務と併行して舞台開きの準備が進められていった。最初は左団次に交渉し、一時まとまったが、のちだめになり、橋三郎・多見之助・正若・滝次郎ら一座、「菅原伝授・板額門破・三日太平記・梅忠」に決ったのである。一方経営面においては、常盤座時代白井松次郎が仕打として経営に当り、夷谷座・布袋座・大黒座の興行にも手を延ばし、大谷竹次郎は歌舞伎座の仕打として打込み、兄弟別途に興行界に地歩を固めて来たが、明治座の経営に当って兄弟が堅く手を結ぶこととし、大谷・白井合名社の名称を使うことになった。</p> <p>（2）1月26日青森第五連隊の将兵210名、八甲田山に雪中行軍を試み、一名を残し尽く凍死した事件を仕組む。俄では救護班が炬燵や飯・茶碗などを携帯する奇観を演じ大受け。歌舞伎座も3月興行に「凍死軍人事件」を上演。この事件は当時喧伝され、唱歌も作られた。 日出 2・19、3・2</p> <p>（3）2・27日には、五条署長他係・明治座・夷谷座主・大黒座・歌舞伎座の仕打新旧の主な俳優が集り、協議、京都演劇改良会創立委員を選ぶ。3・23日委員会で規約を作る。会長に高木文平を推し、評議員・幹事を選ぶ。4・26日先斗町歌舞場で発会式。5月名誉顧問に島文次郎・高安月郊等、名誉評議員に内貴市長・紳商らを依頼。改良</p>	

ノ会の趣意は、1、淳風美俗を尊び、情死残忍・迷信などの状景を改める。2、俳優は品位を向上すること、女優を採用し人間の真性を男女の本性に基いて発露させるようにする。3、劇場の改善。4、上演時間の適正な改良。など。
 (4) 新京極興行場のニュースを編集した冊子。1号明35・5・7 発刊。(A 5判46頁) 2号6・7。3号7・27。4号9・12。5号明36・10・15（「百舞台」発行所御幸町六角下、浅見孝太郎）（以下不明）。
 (5) 改良事項は、高座の見台をやめる。座布団を白金巾で覆い清潔にする。木戸銭以外火鉢・座布団代を取らない。演題は前晩に予告することなど。
 (6) 明石ら猿若狂言上演、また元祖勘三郎拝領の采配・陣羽織など陳列。六左衛門・喜三郎は新地芸妓50名に午前8時から開場までの間三味線教授。
 日出 8・22～9・2

京	都	府
1・1 元日新京極興行もの盛況。 ⁽¹⁾ 2・3日も劣らぬ有様。 日出 1・3、5	6・3 明治座、雁治郎一座開場。(23打上)。 日出 6・3	
1・6 浄教寺(寺町四条下)で平曲会(例会)開催。 日出 1・6	6・7 京都能楽堂落成式 ⁽⁶⁾ (河原町四条)。 日出 5・26	
1・11 金剛流第6回能会金剛能楽堂で開催。(謹之助「鉢木」を演じ日出に妙技絶讃)。 日出 1・10、16	6・13 歌舞伎座、関十郎一座開場。 日出 6・12	
1・11 喜多流堀池延叟指導、同好者「喜雲会」結成、月例謡曲会開催。 日出 1・5	6・18 千本座、金泉一座開場。(22打上)。 日出 6・15、21	
1・24~2・2 夷谷座、軍事ものを主とする活動写真興行。 日出 1・25、2・3	6・25、26 南座、雁治郎一座(内貴市長・高木文平・中野忠八等発起の慈善興行。日出 6・21	
1・29 歌舞伎座山口定男一座開場。(1・19山口負傷し休場。 ⁽²⁾ 2・10返り初日。2・24打上)。 日出 2・25	6・30 明治座、静間・伊井(京都初舞台)一座開場。(7・23打上。あと静間一座で興行)。 日出 7・23	
2・7 西本願寺21世明如上人(1・18没)の葬送に各地からの参詣人夕方から新京極に出歩き土曜日と重なって興行もの大繁昌。 ⁽³⁾ 日出 2・9	7・1 上賀茂神社御戸代能(観世流)挙行。 日出 6・30、7・1	
2・15 鈴木鼓村の「国風音楽」 ⁽⁴⁾ 演奏会京都クラブで開催。 日出 2・15	7・11 歌舞伎座、山口一座開場。 日出 7・7~11	
2・28 夷谷座、正若一座26打上、本日泉祐三郎一座今様能狂言開場。 日出 2・25、28	7・24 南座、鶴屋家団十郎一座の俄開場。 日出 7・21、26	
3・5 歌舞伎座、川上音二郎一座「オセロ」上演初日、出揃。女優に貞奴・守住月華(市川九女八の本名)出演。(11日千秋楽、連日満員)。 日出 2・28、3・10	7・一 初旬歌舞伎座前芝居茶屋柳屋営業立たず廃業。 日出 7・9	
3・7 南座、所有者安田の名で「南座を売りたいのでお望みの方は来談を願う」趣意の広告文日出に掲出。 日出 3・7	8・3 明治座、静間一座に守住月華ら女優加入で開場(18打上)。 日出 8・5、8・19	
3・10 南座、我当・団蔵一座開場(3・26千秋楽)。 日出 3・25	8・20 南座、杵屋連(六左衛門・勘五郎・六郎次・芳村伊十郎・吉三郎ら)長唄興行(24打上)。 日出 8・4、25	
3・14 歌舞伎座、山口一座開場。 同上	8・28 夷谷座、山口一座開場。大入。 日出 8・29	
3・15 京都音楽会第1回演奏会高女講堂で開催(5・24第2回、11・22第3回)。 日出 3・15	8・31 明治座、静間一座に市川九女八・阪東玉三郎加り開場。 日出 8・26、28	
3・27 市会、興行席遊芸稼人月税を50銭とする案可決、遊芸稼人挙って不満。 日出 3・27	9・1 歌舞伎座、正若・関十郎合併興行開場。 日出 8・25	
4・1 南座、福井茂兵衛一座開場(4・12打上。13日から泉一座今様能狂言興行)。 日出 3・30、4・13	9・2 岩神座、西陣不景気のため株式組織で改築の計画ならず、合資会社に変更出資者協議。 日出 9・4	
4・2 歌舞伎座、団蔵・延二郎一座開場。6日には外国人10数名観劇、近頃の傾向。 日出 4・2、8	9・20 明治座、九女八ら女優抜け静間一座開場。 日出 9・21	
4・19 片山能楽堂で茂山忠三郎義直の17回忌追善能挙行。 日出 4・15	9・21 南座、文楽座、人形浄瑠璃開場。(27打上)。 日出 9・21、29	
4・29~5・3 南座、東京歌舞名人大会開催。 ⁽⁵⁾ 日出 4・28	9・一 夷谷座、第2福真亭・西陣座いずれも女義で賑う。 日出 9・22	
5・9、10 京都クラブで末生流家元末生齊一甫の追悼花会開催。 日出 5・10	10・6 南座、泉一座今様能狂言開場(18打上、千本座で7日間興行)。 日出 10・3、12	
5・9 笑福亭の落語家福我洋服で出演。 日出 5・9	10・11 明治座、静間一座開場(26打上、27東京孤児院の慈善興行、31二の替り興行)。 日出 10・5~31	
5・31 夷谷座、正若一座開場。 日出 6・1	10・21~29 南座、呂昇一座興行。 日出 10・20、31	
	11・22、23 明治座、静間一座お伽劇開催。 日出 11・21	
	11・29 南座、雁治郎一座顔見世興行初日(6日など夜場棧敷売切。12・14千秋楽)。 日出 11・29、12・14	

京	都	府	日	本
11・30 明治座、団蔵・福助・右団次一座顔見世興行初日。(12・16千秋楽)。 日出 11・22、12・16			2・11 明治座、川上音二郎一座、江見水陸藏案「オセロ」上演。	
11・30 布袋座、朝日座と改称、森・岩根一座新演劇開場。 日出 12・1			2・18 5世尾上菊五郎没、60歳。	
11・一 洛陽末生流、赤円齊竹甫により創流。京展20年の歩み			2・一 長唄植木庄派(杵屋六左衛門・芳村伊十郎)「長唄音楽会」組織。	
12・2 歌舞伎座、高田実・河合武雄一座開場。(12・19打上)。 日出 11・25、12・14			4・一 本郷座、徳富蘆花の小説「不如帰」を藤沢浅二郎脚色初演。	
12・16 幾代亭へ常盤津林中出演(12・22打上、23から素人浄瑠璃)。 日出 12・16、21			4・一 改良座(元川上座)焼失。	
12・28 第1・第2福真亭の落成式を第1福真亭で挙行、区役所・警察・興行関係・新聞各界100余名臨席、第2福真亭で余興、盛会。 日出 12・30			6・4 明治座、慈善興行に、川上音二郎一座「ヴェニスの人」上演。	
12・29 夷谷座、1月興行伊藤綾之助一座開場。 日出 12・29			6・15 真砂座、女俳優中村仲吉一座「椿姫」上演。	
12・31 明治座、1月興行静間一座開場。同上			6・一 東京座、高田・藤沢一座「金色夜叉」上演。	
12・一 静間一座、川上音二郎の改良事項に倣い九カ条 ⁽⁷⁾ の箇条を作り実行に努力。 日出 12・15			7・一 東京音楽学校歌劇研究会、グリニウック作、「オルフォイス」公演(邦人の歌劇初演、三浦環出場)。	
			7・一 団十郎・菊五郎の「紅葉狩」映画初公開。	
			9・13 9世市川團十郎没、66歳。	
			9・一 芝能舞台、靖国神社境内に移築。	
			10・15 国華座(浅草座改称)舞台開、福井茂兵衛・村田正雄一座「リア王」上演。	
			10・一 最初の映画常設館、浅草電気館開業。	
			11・2 本郷座、川上音二郎一座、演劇改良五ヶ条施行し、土肥春曙・山岸荷葉藏案の「ハムレット」上演。	
			11・一 プロテスタント各派統一の「讚美歌」刊。	
			7(7) 静間の改良9ヶ条。	
			1. 従来の棧敷・場を廃し切符制度1等~5等とす。	
			2. 観覧人が舞台を見易くするためアーク灯を廃し舞台上、舞台際に面灯を点ずること。	
			3. 舞台を洋風に、周囲を黒ビロード張りとし、幕・緞帳を廃し幔幕を両方に引上げ洋風飾りとする。	
			4. 囃子を減じ立三味線・立囃子・鳴物打の3人幕の開閉と洋室場面には楽隊を使用。	
			5. 興行時間を6時間とし午後5~11、幕間10分とする。	
			6. 中売りを全廃。	
			7. 部屋は通り部屋とし、食堂・事務を設備。	
			8. 人力車帖場は当分茶屋で取扱うこと。	
			9. 番附はこれまでの大判を四六判に改める。	
(1) 元日の主な興行場入場数(昼夜計)。 明治座静間一座1,787・夷谷座正若一座1,070・大黒座伊藤綾之助一座738・布袋座茶好(俄)一座1,131・幾代亭(落語)636・第1福真亭570・第2福真亭(女義)324・笑福亭(落語)530・琴書館(講談)462・魯山館(講談)380・歌舞伎座関十郎福之助一座1,186・大席座新玉東玉一座(俄)853。				
(2) 山口「千本桜忠信二段返し」演技中宙吊から落ち負傷、2・4から5日間休場、その間に夷谷座で行なった活動写真興行。				
(3) 大席座・幾代亭・第1・第2福真亭・琴書館・魯山館・笑福亭等安値の興行もの、午後6時半から8時半の間に客止め、夷谷座も大入り。				
(4) 国風音楽会、京極流を主唱する箏曲家鈴木鼓村<那智俊宣>が京都で結成、この日の番組には、平曲・尺八・薩摩琵琶あり、鼓村は高安月郊作詞に作曲した「橘娘」を弹奏。				
(5) 出演者常盤津林中・岸沢文字兵衛・杵屋六左衛門・杵屋勘五郎・芳村伊十郎・岡安喜代八・三登勢太夫・長門太夫・九女八・阪東八十助・玉三郎・三田八(3人守田勘弥の子)。				
(6) 明31豊太閤300年祭の折太閤垣に建設した能舞台を豊国神社倉庫に解体保管してあったのを茂山千五郎が百万奔走寄附金によって大雲院の寺地を買い建設。7、8、9落成式・舞台開能開催、五流揃って出演。一部寄附金未納で債務が残り、37年を経過する内経済上行詰って38年暮手離すに至った。茂山千作、狂言八十年				

京	都	府
1・1 新京極賑う。 ⁽¹⁾ 日出 1・3		3・24 南座、市川団蔵・成雀・佐十郎・橋三郎・米十郎ら一座開場。切「日露交戦予備兵」(6日打上)。 日出 3・14~23、4・8
1・1~10 南座、活動写真興行、小学生多数入場。 日出 1・7		4・1 歌舞伎座、正若一座開場。切、「都踊」の出囃子に東京新橋芸妓連出勤。「都踊」のみの見料、5銭。大入。(27日打上)。 日出 3・30、31、4・3、27、28
1・一 明治座、静間一座(明36・12・31開場)昼「愛と心」、夜「雪の曙」、本興行から改良十ヶ条実行。 ⁽²⁾ 日出 1・1		4・3 金剛流軍費献納能楽、35銭、満員。 日出 4・5
1・28 明治座、静間一座。「乳兄弟」(作者菊池幽芳稽古指導。初日総幕出揃実行。5時開場、6時開演)。 日出 1・25、27		4・8 朝日座、曾我廼家五郎十郎一座改良俄開場。切符制度実施。22・12・6銭。(座員昼間円山の津の清茶店で揃いの紋付でサービス)。 日出 4・7、8
1・一 歌舞伎座、正若一座演劇改良条目決める。 ⁽³⁾ 日出 1・20		4・14 明治座、静間一座(静間戦地から帰国)「戦争余滴五幕」(二階席見難く、仕打大修繕)。(観劇料30・18・10・5銭)(非常な人気、初日6時各等客止)。(5・4日打上。次興行8~26、「鬼中佐五幕」)初日総幕出揃、ボーイ白地海軍服着用。切符前売。(三の替り、31日開場「名誉の三八」6・17打上)。 日出 4・9~18、5・3~13、6・17
2・14 夷谷座、角藤定憲一座「露兇漢」開場(23日千秋楽。24、25日寄附興行)。 大朝 2・15、23		4・17~23 南座、大阪活動写真会興行。「浅間艦の攻撃・決死隊」入場料50・30・20・10銭。水場1人3銭。 日出 4・18
2・15 音楽講習会始業。(オルガン・ヴァイオリン・唱歌・軍楽)、教師陸軍楽士北条静。初等・高等。月・水・金。会場大蓮寺(仏具屋町五条下)。 大朝 2・11		4・22 興行同盟会300人余 戦勝祝賀提灯行列挙行。 日出 4・22
2・27 明治座、静間一座「日露戦争・帝国万歳」開場。 大朝 2・24		4・24~5・25 夷谷座、戦争パノラマ興行。(初日入場者午前8時から話かけ、終日盛況。小学生には大割引、殺到。パノラマを写真にし小学校に配布する由)。 日出 4・26、28
2・29 歌舞伎座、正若一座「伊賀越道中双六・朝日光(日露事件)」開場。(正若発病、16日打上)。(そのあと18~23日呂昇一座興行)。 大朝 2・28、3・18、25、日出 3・18		5・1 南座「福井茂兵衛・喜多村緑郎一座開場」。 ⁽⁶⁾ (12日打上。次興行21日開場。「日章旗」29日打上)。 大朝 5・31、日出 5・1、20
2・29 千本座、市正・末松一馬新旧派合同劇「日露戦争」開場。 大朝 2・29		5・8 金剛・観世(片山)両舞台で各例会 ⁽⁷⁾ 開催。 日出 5・5
2・29 「能楽振興会」設立、機関誌「能狂言」創刊。 ⁽⁴⁾ (3・27日2号刊。あと不詳)。 能狂言1、2号		5・17~21 島原座、株式第4回払込。表構え改造、舞台拡張、観覧席置新調。6・5 森三吉一座「日露戦役」開場。 ⁽⁸⁾ 日出 5・21、6・5、19
2・一 幾代亭・笑福亭・大席座電灯設備。 大朝 2・6		5・一 明治座、昨今外人観客十数人、特に席を設備。 日出 5・15
2・一 琴書館・魯山館、日露時局号外を口演、毎夜大入。時局切迫の際に興行界好景気。 大朝 2・10		5・一 鴨川踊本年、歌舞練場改築のため、休止。 日出 5・19、番附
3・2 大席座、新玉・東王一座俄「日露事件日本魂、他」上場。(3・26日芸題替「日露朝日桜、他」。 日出 3・2、26		6・4 片山能楽堂軍資献金能楽。日出 6・9
3・3 静間小次郎、川上音二郎・藤沢浅二郎・高田実と同行従軍、宇品出発。 日出 3・2		6・7 京都能楽堂建立1周年祝能。同上
3・20 金剛能楽堂第1回例会。 日出 3・12		6・10 歌舞伎座、右団次・福助・多見之助・広三郎ら一座開場。「二階笠・樽屋おせん・法界坊所作事」。仕打白井・大谷催主観劇会設立、入会金1円50銭、今回切符制休止。(27日打上)。 日出 6・4~29
3・20 明治座、静間の留守一座「日露戦争」開場。(次興行も同芸題第二報、20日開場。劇中従軍中の川上・藤沢・高田・静間登場。 日出 3・14、21		
3・23 夷谷座、角藤定憲一座開場。今興行から改良、 ⁽⁵⁾ 切符制度実行。4月3日打上。(あと5日~16英里仏活動写真)。 日出 3・24、4・5、16		
3・23 幾代亭、桂文左衛門(二代目文枝改メ)、文枝(二代目、小文枝改メ)改名披露演芸開催。 日出 3・25		

参	考	日	本
(1) 午前9時頃から人出多くなり、夕方頃甚だ混雑、明治座8分、歌舞伎座7分、夷谷座6分、朝日座5分の入り。大虎座・第1福真亭・琴書館・魯山館夜8時客止。 日出 1・3		1・27	7世清三遊亭円生没、59歳。
(2) 静間改良の十ヶ条(要約)、俳優は品位に保ち、芸術を練磨する。脚本募集を行う。出演・集會に欠席する場合前日に届ける、病欠欠勤は診断書を要する。お伽芝居を上演する。観客に不快の念を起させないようにする。また明治座に文庫を設け、観客にも閲覧させる。 日出 1・23		2・18	文楽三味線、5世豊沢広助没、74歳。
(3) 俳優ら協議し、一座と仕打(白井)相互の要求を協定。(大綱)開幕・終幕の時間を知らせる、幕間12分。道具立は迅速にし、上演中舞台裏で物音を立てぬこと、道具方は俳優の注文に従う。上手・下手・舞台表方は黒衣着用。鬘・衣裳は俳優の等級により差別しない。上演中見物呼出しに大声を出さぬ、また花道を歩かぬこと。世界定めは興行の中日までに決め、俳優へ周知させる。水場従業者は客に親切にし、場内を濫りに歩き廻らぬこと。不揃のまま無理に初日を出さぬこと。3月興行から切符制度実施。 日出 1・20、大朝2・24		2・25	藤沢浅二郎ら新派俳優戦地視察のため京城へ出発。
(4) 「能楽振興会」設立趣旨(大綱)、能楽は維新の際一時衰微、今挽回して普く謡曲を誦う者を見るが、能芸術の深みを演じ鑑賞するのは上流層に限られ、徳川時代の盛事に及ばない、能楽保存発達には能楽師の養成を急務とする。この目的に資するため毎月機関紙発行、春秋能楽開催。常務幹事山田桂華・鈴木露村・補助、茂山忠三郎・野間亀之助・大西亮太郎・大西鑑一郎・生一佐兵衛・室都大夫・沢田保実・田中信次郎・関目顕元・奥田彦右衛門・浅井清太郎・井上勝太郎・大江又三郎・浅野太左衛門・林喜右衛門・片山九郎三郎。賛成、喜多六平太・金剛鈴之助・金春八郎・観世清廉。会費。一ヶ月30銭。2ヶ年満期。事務所・機関紙編輯人山田茂(常務幹事、下京三条大橋東詰)		2・一	大阪浪花座に曾我廼家劇旗揚。
		3・16	4世清元延寿太夫没、73歳。
		3・20、21	東京牛込観世舞台で軍費寄附能楽、清廉、道成寺・鶯・清元・七騎落・道成寺赤頭など。 日出 3・17
		3・一	吉沢商店、日露戦争実写撮影班を現地へ派遣。
		4・7	守田勘弥の娘きみ(坂東玉三郎)・アメリカ、セントルイス博覧会日本喫茶店に出勤のため出帆。(翌年2月没、21歳)。
		4・一	戦争劇流行。
		5・一	東京本郷座、川上音二郎・藤沢ら戦況視察劇開場。脚本松居松翁執筆。赤十字仮病院の場で従軍看護婦応援出勤。(脚本不認可。改めて再出願許可。そのため4月30日開場の予定遅滞)。
		5・一	坪内逍遙「新曲浦島」「新楽劇論」刊。
		6・1	大阪弁天座で、雁治郎、「助六」上演、市川家から著作権侵害提訴、5日限り上演中止させる。
		7・一	真砂座、伊井・河合一座、「サッフォー」上演。
		8・7	初世市川左団次没、63歳。
		9・一	東京座、芝翫・高麗蔵一座「不如帰」上演。
		9・一	大阪道頓堀演劇会社解散。
		10・一	早稲田大学に「能学文学研究会」発足。
		12・20	山口定雄北海道函館の深瀬病院で病没。
		この年	
		▷	戦争劇盛。
		▷	大阪俄全盛、鶴屋団十郎活躍。
		▷	この頃から書生芝居は新派劇として発展、近代劇運動起る。団菊左の名優没後、歌舞伎界の危機叫ばれる。
		▷	添田咀蟬坊「ラッパ節」作る、これより演歌隆盛。
			日出 3・24、31

京	都	府
6・14～28 南座、日露戦争活動写真会。 日出 6・11、23		若・延二郎一座開場、「三人吉三廓の初会・蝶千鳥曾我実録・恋飛脚大和往来」(20打上)。 日出 10・28、11・21
7・1 池坊、祖先小野妹子の祭日、時局の折質素にし、立華生花会中止。 日出 7・2		11・1～11 南座、呂昇一座、簗助・兵三の人形入浄瑠璃興行。 日出 10・31
7・1 第3福真亭、染の家と改称、(10月また福楽亭と改称)。 日出 7・3、27、10・9		11・13 片山能楽堂別会能。 ⁽¹³⁾ 日出 11・6
7・2 歌舞伎座、橋三郎・正若・若橋一座開場。仕打大阪高木、切符休止。(打上12日)。 日出 7・1、11		11・13 京都音楽会第一高女で演奏会。 日出 11・11
7・14～29 歌舞伎座、鶴屋団十郎一座開場。(28日打上)。(あと30～8・11越路太夫一座)。 日出 7・29、8・11		11・14 岩神座落成式挙行、開場。(21日蔵入12・1二の替の)。 日出 11・6、22、12・1
7・26 片山能楽堂で夜会能。 日出 7・25		11・7～13 夷谷座、日華協和クラブの「日露戦争」活動写真。15日博文館特派撮影隊の活動写真開場。従軍講談師松林伯鶴説明。15日38聯隊兵士750人招待。 日出 11・14、17
8・6 岩神座、改築着工。 ⁽⁹⁾ 日出 8・8		11・12、13 大虎座、お伽喜劇第1回開催。(19、20日に第2回、26、27日に第3回)日出 11・14、18
8・13 夷谷座、宝楽・田螺一座喜劇。(8・27日打上。あと活動写真9・7日まで)。 日出 8・11、23		11・23 片山能舞台開3周年記念会会。 日出 11・23
8・15 歌舞伎座、「ファウンテッド館」開館。 ⁽¹⁰⁾ 日出 8・16		11・27 夷谷座、金泉・深沢・熊谷一座開場。「雪中軍」。(12・16打上、非常の好人気)。 日出 11・29、12・16
9・5 歌舞伎座、正若・我童一座開場。(23日打上。次興行10・1日開場)。 日出 8・31、9・25、10・2		11・一 南座、オリエンタル活動写真会開場。 日出 11・14
9・30 夷谷座、木村猛夫一座「敷島の花五幕」開場。 日出 9・25		12・1 明治座、顔見世、右団次・我当・福助ら ⁽¹⁴⁾ 一座開場。(16日打上。20～26鶴屋団十郎一座喜劇興行)。 日出 11・27、12・1～18
10・1 明治座、川上音二郎一座、「ハムレット・浮れ胡弓」午後6時開場。 ⁽¹¹⁾ (10・7日打上)。 日出 9・23、10・7		12・1 歌舞伎座、正若・延二郎・我童一座開場。「神風・妹背山・阿漕・古八・フランチェスカの恋・吉野山」(9日から昼夜通し、好況。18日打上)。(20日～3日間、現一座に雁治郎・玉七・伝五郎加り興行「天神記・伊賀越八ッ目・廓文章吉田屋」)。 日出 12・1～18
10・1 笑福亭、立花家円太郎が借り受け、大阪三友派落語の常席興行。 日出 9・27、11・20		12・2 南座、雁治郎・成太郎・伝五郎・玉七・吉三郎ら一座、昼「児雷也豪傑物語・西方響智勇三略」夜「召集令・積恋雪関扉」(「召集令」見合し、4日から昼夜通し、7日夜8時客止。16日打上)。 日出 11・25、12・1、5、9、16
10・9 金剛第4回例会、謹之助病気休演。(11・20病気全快祝能)。 日出 10・6		12・4 片山能楽堂茂山千五郎・忠三郎両家和解能楽。千五郎「煎物」・忠三郎・久治「米市」・千五郎「武悪」・真一・良一「文荷」など。 日出 11・27
10・11 明治座、静間一座開場、水谷不例作・山口霧汀脚色「千軒長者」。(13日英公使夫妻観劇25日打上、次10・31日開場。11・18日打上)。 日出 10・14～20、11・19		12・8 千本座、活動写真大会、「日露戦争」開場。(18日から金泉・深沢一座開場)。 日出 12・9、18
10・14 笑福亭福松没、47歳。(笑福亭席を開き真打として幾代亭の桂派と競い、のち大阪で三友派結成に加わる)。 日出 10・16		12・18 岩神座、福助・政治郎一座開場。人気高騰。 日出 12・20
10・14 朝日座、曾我廼家五郎・十郎一座芸題替。「無筆の号外」他。(10・31日打上、神戸で興行。朝日座は尾上梅昇一座が次興行)。 日出 10・15、27、11・1		12・31 南座、中央活動写真会開場。 日出 12・30
10・16 片山能楽堂、茂山忠三郎主催能楽。金剛鈴之助来京出演、片山九郎三郎「小鍛冶黒頭」(舞う清孝再興の秘曲、京都初演)。 日出 10・10		12・31 明治座、静間一座開場、昼「天の祐」夜「旅順港」。 日出 12・27
10・20 喜多流堀池社中「喜雲会」 ⁽¹²⁾ 島谷邸(金閣寺前)で謡曲会。 日出 10・22		12・31 夷谷座、活動写真開場。(38・1・10まで)。 日出 12・25、30
10・25 島原座、片岡市之正一座開場。 日出 10・27		
11・1 歌舞伎座、延三郎・我童・福之助・小伝次・徳十郎・仙松・璃キ升・当若・当十郎・正		

参	考	日	本
(6)	芸題「戦争余情軍国の花七幕」、福井茂兵衛・後藤良介・深津三郎・山口一雄・吉村哲郎・池見成美・岡田正直・河本重徳・松下彦太郎・篠塚太郎・木下吉之助・喜多村緑郎。入場料、60・35・20・10銭、31日舞台稽古に文士連を招き批評を乞う。南座の借主は西尾と山村の兩人、前者は新演劇、後者は旧劇を興行することを主張、結局隔月に交替することに決る。この興行は西尾による。ところが持主と借主西尾の間に借賃支払のことで紛め、順調に日数を進められなかった。		
(7)	金剛舞台、生田敦盛・種田嘉三郎・竹村藤兵衛、百万金剛謹之助・田中耕吉、羽衣金剛巖・岩山峻、海人(懐中の舞)、金剛謹之助・原田里之助・殺生石原玉城・鈴木禎次郎。(狂言)富士松、蝸牛、武悪、神鳴。片山舞台、東方朔片山九郎三郎・長谷川勇、光仲林喜右衛門・原田里之助、雲雀山大江又三郎・岩山峻、鉄輪野間亀之助、土蜘蛛片山九郎三郎・鈴木禎次郎、(狂言)薩摩守、雁礫・金藤左衛門・朝比奈。		
(8)	森一座上演中実弾をこめたピストルを使用、誤って見物8人負傷。 日出 6・19		
(9)	岩神座は明治35年取締規則に基き改築を命ぜられたが座主長谷川は株式組織にしようとしたが不景で実現せず放置されていた、今度内田弥三郎が買取り改築に着手。9月20日落成の予定。敷地445坪、建坪200坪、工費15,000円。棟上後暴風雨のため倒壊したらしく10・11日再度棟上今度は風雨のため倒れぬよう注意、という日出記事がある。(10・12)		ノ神戸大黒座の開場式に出る。5日には京都ホテル・都ホテル・也阿弥ホテル止宿の外人数十名観劇。日出新聞投書に演技の評点あり、川上の年丸85点、貞奴の折枝88、藤沢の原田庄次85、静間の令嬢75、木村公爵78。
(10)	歌舞伎座の「ファウンテッド館」というのは、凸面、凹面、楕円の鏡を据え、化けもの屋敷の仕組であったが、五条署の注意を受け、座敷抜け「迷路」とした。即ち場内数十の部屋を造作し、野村芳光が怪談画を描き、迷路にまごついているとそれが俄に現われ、鏡に映ったり、ど肝を抜かれる。通り抜けるに30分～1時間30分を要する。毎日雑踏。初日4,700人、17日4,200人入場、華街の連中が多い。		(12) 当日出演者、工藤則勝、皆山源之助・角田寿山・和田真四郎・岡崎忠睦・高岡寛太郎・高林宗三郎・源高清・岡林与三・梶山文苑。日出 10・22
(11)	明治座川上一座開場前日文士招待して舞台稽古、午後6時開演では「浮れ胡弓」上場は困難であるが道具方を奮励上演する。改良五ヶ条を実行、初日打出12時、2日目大雨に拘らず、7時各等売切れ、打出11時30、劇が劇だけに大学・高校生の観客多い。3日目から3、4等客数と1、2等客数入れ替わる。4日午後6.30客止。5日1、2等満員。演技中葉村公爵(木村周平)を堀尾令橋(静間)が短剣で突くのを避け損ね、左眼上部を負傷、繻帯を施し大詰まで続ける。一座10月7日打上げ、		(13) 観世清之出演。番組は小書附多く、珍重。「八島弓流・素働」大西亮太郎・岩山峻、間「那須語」茂山忠三郎、「殺生石」片山九郎三郎・田中耕吉、「花筐大返し・筐の伝」片山九郎三郎・観世清之、「恋重荷」大江又三郎・鈴木禎次郎、乱「双之舞」清之・耕吉、狂言、「二人大名」茂山真一、「吃り」茂山久治、「唐相撲」茂山忠三郎。
(12)	芸題、昼「黄金花伊達実録六幕・渡海屋一幕」夜「関取千両織猪名川内・扇の西海靛乳母争・神代巻大蛇退治」松縁恋秋月三幕・連獅子」福助の出しもの、「乳母争」は明治17年3月初めて中座で上演、福助の乳母篠原、今年5月南座で上演、福助同じ役。右団次の出しもの「神代巻」は作者彦助が昨年4月近松の「日本振袖初」を脚色、舞は右団次自身振付。		(14) 芸題、昼「黄金花伊達実録六幕・渡海屋一幕」夜「関取千両織猪名川内・扇の西海靛乳母争・神代巻大蛇退治」松縁恋秋月三幕・連獅子」福助の出しもの、「乳母争」は明治17年3月初めて中座で上演、福助の乳母篠原、今年5月南座で上演、福助同じ役。右団次の出しもの「神代巻」は作者彦助が昨年4月近松の「日本振袖初」を脚色、舞は右団次自身振付。

京	都	府
1・1 岩神座、市十郎・滝次郎・栄次郎ら一座開場(15日・22日芸題替)。 日出 1・14、23、明37・12・30	4・22、23 観世家祖先追悼能楽 ⁽³⁾ (観阿弥500年祭)片山能楽堂で挙行。 日出 4・9	
1・1 千本座、尾上松之助一座開場(15日芸題替。2・1続演)。日出 1・14、30、明37・12・30	4・23～5・9 明治座、静間一座、「ロメオとジュリエット・老將軍」 ⁽⁴⁾ 興行。(非常な人気、2時頃から続々入場)。(次興行、5・14～27「かち軍」)。次興行、5・31日「殺人罪」開場)。 日出 4・17～24、5・10、26	
1・1 島原座、川上薫一座開場(1・20芸題替)。日出 1・20、明37・12・30	5・1～10 神泉苑でも壬生狂言挙行(明26年から分離)。日出 4・19	
1・3 旅順陥落(2日開城談判終了)の報に祝賀気分旺盛、新京極興行場各席挙げて大入。 日出 1・5	5・15～28 歌舞伎座、雁治郎・福助・玉七・伝五郎・吉三郎・明治郎ら一座興行。(次興行6・1～13)。日出 4・21、5・4、13、大毎 6・11	
1・8 金剛能楽堂で旅順陥落祝賀能。 日出 1・8	5・16～23 南座、奉公義会主催活動写真開催、入り切れない人多数。日出 5・11	
1・8 興行同盟会、約500人旅順陥落祝賀提灯行列。 日出 1・10	5・21 金剛謹之助主催慈善能会、愛国婦人会へ寄附興行。 同上	
1・15 南座、日本軍事活動写真会の日露戦争活動写真開場(前の活動写真12日終了)。 日出 1・13、14	5・21 京都音楽会第6回演奏会、第一高女で開催(11・23第7回)。京都音楽史、日出 5・21	
1・19 明治座千秋楽。20～23祝勝劇。25日夜、観客と合同提灯行列挙行。 日出 1・20	6・21～30 歌舞伎座、静間一座、木村猛夫加入。「大毎連載、水谷不倒作、岩窟葬」興行。(大評判、24日など開場前各等売切。大毎 6・18、26	
1・31 実川延三郎没、42歳。日出 2・2	6・25 国風音楽会、共楽館で、第9回音楽会開催。 大毎 6・17	
2・1～16 明治座、静間一座、「秘密の使者・ユーゴー原作、エルナニ」興行。 日出 1・28、2・3、15	7・1～20 明治座、右団治・巖笑・右之助・福之助・璃徳・当若・扇駒ら一座、「勝武力・(高安月郊作元禄踊)盆踊都風流・いろは仮名義士伝」興行。(次は、24日まで、戦地活動写真)。 大毎 6・25	
2・1～20 歌舞伎座、我童・右之助・長三郎・小伝次・時蔵一座、二番目に「渡辺霞汀訃、サッフォー」上演。(次興行、3・1、同一座。中狂言「大朝連載、琵琶歌」(海岸の場の波を電気仕掛で見せる、すばらしい道具立。(14日打上、17日から岩神座で興行。4・5～27日歌舞伎座に帰り興行。「乳兄弟」上演)。日出 1・24、25、2・3	7・15 南座、鶴屋団十郎一座俄開場。 日出 7・12、14	
2・4～15 南座、尾上楽之助一座子供芝居興行。「嬬山姥・堀川」など呼物、毎日総見あり、好人気。(17日から岩神座開場。3・2～13南座に帰り興行)。 日出 2・2、16、3・8	7・15 歌舞伎座、静間一座二の替り、「浪人嵐」(大阪堀江六人軒脚色、これは悪評、警察からも注意を受け、23日から、「小松天外、ばけ柳」に芸題替、8・1打上、その次は一座明治座に帰り興行)。 日出 7・22、31	
2・11 服部嘉内謡曲会開催。 ⁽¹⁾ 日出 2・8	8・6～23 明治座、静間一座「坪内逍遙、ふた心」興行。(次は、呂昇女浄瑠璃興行)。 日出 8・2～23、9・2	
2・23 明治座、静間一座「大毎連載、菊池幽芳、己が罪」開場。(根岸海岸の場の書割を浅井忠が揮毫)(25日、批評を乞うため、島文次郎・高安月郊・湯浅半月・浅井忠ら招待)。(1・2等切符早く売切)。(興行期間3・30～4・1に変更か?)。 日出 2・23、26、3・1	8・17～25 歌舞伎座、東京演芸大会開催。 ⁽⁶⁾ 日出 8・16、25	
3・15 片山能楽堂猿楽会 ⁽²⁾ 第1回狂言会開催。(7・1日第2回。11・27第3回)。 日出 3・13、11・26、大毎6・18	8・23 南座、八百蔵・梅幸・菊五郎・松助・羽左衛門・吉右衛門・囃子・伊十郎・六左衛門一座、(大阪角座興行のあと)「天目山・安宅関・御所蔵・土蜘蛛・小袖幕元禄模様」開場。(この興行は渡辺謙助ら発起、軍人遺族援護の演技大会第1回として開催、稀な大入)。9・3日打上。 日出 8・25、9・1	
3・20 南座、日露戦争活動写真大会開場。 日出 3・19		
3・22～28 歌舞伎座、川上音二郎一座「長田秋濤作、王冠」興行。 日出 3・17		
4・15、16 建仁寺中、大中院で未生流蝙蝠齋社中の春季活花会開催。 日出 4・15		

参	考	日	本
(1) 服部嘉内は宝生流ツレ家の家柄、久しく官途に勤め、傍ら謡曲を教えていたが、今回職を辞し、専ら謡曲を教えることとなった。宝生嘉内と改称、11日室町二条下ル自宅で謡曲会を催した。「邯鄲・田村・雲雀山・巻絹・石橋」。また3月12日には片山能楽堂別会能に出勤。 日出 2・8		1・18 文楽人形遣、吉田玉造没、77歳。	
(2) 茂山忠三郎発起して組織、年3回(3、7、11月)狂言大会開催、会員は3年一期、甲(簾掛り)月30銭、乙(幕掛り)20銭、丙(通常)10銭、申込茂山忠三郎(車屋町竹屋町下)。		1・23 大阪俳優実川延三郎没、42歳。	
(3) 22日、小鍛冶白頭、林喜右衛門・鈴木禎次郎、花争、茂山真一、忠度替の形、梅若六郎・田中耕吉、膏葉練、茂山千五郎・忠三郎・角田川、梅若実・岩山峻、七騎落恐の舞、観世鎮之丞・長谷川勇、蜘蛛人、茂山千五郎、海士寤、観世清廉・田中耕吉、23日、巻絹、替装束、観世鎮之丞・岩山峻、附子、茂山忠三郎・千五郎、鉢木、梅若万三郎・田中耕吉、布施無経、茂山忠三郎、蟬丸、片山九郎三郎・観世清廉、素謡俊寛、片山九郎三郎・梅若六郎、天鼓、寿鼓之楽、観世清之・岩山峻、蝸牛、茂山真一、融、十三段舞、返し脇笛、大江又三郎・長谷川勇。		1・一 明治座、「松居松翁齋案、ユーゴー、エルナニ」上演。	
(4) 一座に元やまと新聞記者をしていた本庄幽蘭と素性不評のアダリーという女性(軽曲の素養があったと思われ)を加えたが、幽蘭は素人で拙く、アダリーは喰せものであった。「ロメオとジュリエット」は不出来で二日目から改善すべく、24日朝俄に稽古、静間病中を押しして出勤。(アダリーは大阪朝日座と東京真砂座から買いに来た。アダリーは古郷神戸に帰り、幽蘭女史は岩神座の一座に加入)。 日出 4・25、5・7		1・一 易風会(逍遙中心の朗読研究会)成立。	
(5) 明治座前景気良好、幕間音楽演奏、ボッカチョ、マーチ、ウベルチール、ゴールドンゲート、御所車、フチルトパークワルツ、はやわざ、ギャロップなど。		1・一 東京座、高麗蔵一座、本郷座、河合一座、「菊池幽芳、乳兄弟」競演。	
(6) 落語三友亭光玉・鶴之助・福寿、音曲落語三遊亭遊三、舞、落語桂枝太郎、音曲嘶春風亭楓枝、常盤津東家小満之助、奇術、曲芸清国人李彩、新浄瑠璃渡辺松菊齋・絃石井菊弥、女道楽千歳・米坡・武蔵屋・花枝・葉枝・松葉屋七五三子・千歳・米若・尾花家米花・東家蝶。1等30銭、2等20銭、3等10銭。		2・23 神戸相生座出火、朝日座も類焼。	
		2・一 大阪朝日座「マクベス」上演、山口霧汀脚色、島華水監督、浅井忠書割。 日出 1・18	
		2・一 2世松林伯円没、78歳。	
		2・一 延二郎歌舞伎座を抜け、大阪角座我当一座へ出勤。高安月郊「江戸城明渡」の後藤象二郎ら六役出演。 日出 2・3	
		3・17 東京本郷座藤沢・水野・佐藤・山岡・中野ら一座「新生涯」開場。 日出 3・21	
		3・一 守田勘弥の娘、女優坂東玉三郎(守田きみ)セントルイス博覧会に出演のため渡米中流行病で死去、21歳。 日出 3・10	
		3・一 市川高麗蔵(7世幸四郎)東京歌舞伎座で、歌劇「露宮の夢」上演。	
		4・16 神戸で観世祖先500年祭追悼能楽。 日出 4・16	
		4・25 大阪で観世家祖先追悼能楽、東京では6月13、14日挙行。	
		4・一 曾我廼家喜劇一座初めて新富座で興行。	
		5・一 実川正若、大阪角座で延三郎襲名。	
		5・一 観阿弥500年祭追悼能、東京・大阪・神戸・京都で開催。	
		5・一 若葉会文士劇第一回開催。	
		7・25 5世竹本組太夫没、59歳。	
		8・一 花井お梅横浜座に出勤、お梅の役で出演。	
		8・一 日比谷公園奏楽堂演奏開始(戸山学校隊員50余名、永井廸子指揮)。	
		8・一 東京音楽院(天谷泰院長)開校。	
		8・一 女子音楽園(杉山鑑子園長)開校。	
		9・23～10・7 歌舞伎座、団十郎追善興行、市川家一門全部出勤。	

京 都 府	
<p>9・1 歌舞伎座、璃徳・福之助・当若・右田作ら一座に中村翠峨（仲吉改名）・市川蓮女加入、「デユマ・マダム・カナリヤ・実録先代萩・所作事活動写真」開場。（不入のため10日打上、15日「不如帰」などで開場。好評、10・1打上） 日出 8・27、31、9・12～28</p> <p>9・6 明治座、静間一座、「渡辺霞汀作・並木萍水脚色、想夫憐」開場。外人俳優出演。24日打上。 日出 9・3～26</p> <p>9・7 岩神座、呂昇・小弥儀、「水谷不倒作、日露戦争記梅原住家」語る。 日出 9・7</p> <p>9・10 片山能楽堂例会能。堀池延叟・服部嘉内出演。 日出 9・5</p> <p>9・30 岩神座、静間一座の川上一郎抜けて、竹川・高須・猿猴栄次らと一座し旗揚開場。 日出 9・29</p> <p>10・1 明治座、静間一座（木村周平本年中加入、来春1月高田実の大阪旗揚に参加）、「不如帰」開場。（20日打上）。 日出 9・26、28、10・20</p> <p>10・7 歌舞伎座、関十郎・徳三郎・璃徳・広三吉・滝治吉・橋三郎一座「日吉丸雅桜・真清水・合邦・忠臣連理鉢植」開場。25日打上。 日出 10・5、19</p> <p>10・8 関西音楽協会第2回音楽会、尚徳小学校で開催。 日出 10・5</p> <p>10・11～18 南座、松旭齊天一一座奇術興行。（一座明28常盤座興行後10年ぶり）19日打上。 日出 10・9～19</p> <p>10・20～29 南座、呂昇一座興行。 日出 10・20、28</p> <p>10・25、26 歌舞伎座、文士劇⁽⁹⁾開催。（岡山孤児院のため、併せて幻灯影写）（29～11・16曾我廼家俄興行）。 日出 10・20、27、11・17</p> <p>10・27 明治座、静間一座「愛と罪」開場。（次興行、11・22～12・7「高安月郊作、銀嵐・並木萍水作、改良奥様」興行）。 日出 10・22、11・17、12・8</p> <p>10・29 音楽講習所（藤田胸三郎主宰）第4回演奏会を女子手芸学校で開催。 日出 10・28</p> <p>11・26 金剛能楽堂別会能、片山九郎三郎・桜間伴馬演能、謹之助「砧」開曲。 日出 11・17</p> <p>11・30 歌舞伎座顔見世興行、雁治郎・福助・右団治・青年俳優ら一座。12・15千秋楽。（12・18～23鶴屋団十郎一座興行。 日出 11・11、22、12・15</p> <p>12・5 南座、我当一座顔見世興行、「桐一葉・月郊作、さくら時雨」上演（我当病気のため17日から3日間休業、21～3日間戻り興行）。 日出 12・4～19</p>	<p>12・31 明治座、静間一座「初日出・俠男児」開場。 日出 12・23</p> <p>12・31 朝座、新玉一座俄開場。 同上</p> <p>12・31 歌舞伎座、雁治郎・玉七・延三郎一座開場。（延三郎お目見得狂言「大杯酒戦強者」）1月23日千秋楽。</p> <p>12・31 夷谷座、横田商会活動写真開場。 日出 12・29</p>

参 考	日 本
<p>(7) 五二会から俳優に花環贈呈、羽左衛門代表として大切元録踊と土蜘蛛との間に羽織袴で頭取と共に、五二会では小篠理事、沢田書記が舞台上より花環・金封を贈呈、祝詞朗読、羽左衛門答辞。</p> <p>(8) 芸題、新作「勝色緘二場、露伴原作・風流仏二幕・(オペラ) 露宮の夢一幕」。多数の能楽師特にオペラ観に来場。片山九郎三郎・大江又三郎・茂山千五郎他。</p>	

京	都	府
1・8 南座、八幡家一座の浮れ節芝居開場。 日出 1・11		4・22 明治座、静間一座、「雪か花か」、開業 5周年記念福引贈呈。5月16日打上。
1・18 明治座、静間一座打上。25日次興行、 「伯爵夫人」 ⁽⁴⁾ 開場（初日各等売切。15日打上）。 日出 1・17、20～27、2・16		5・14 歌舞伎座、曾我廼家一座開場。6・4 日打上。日出 5・4、6・2
1・19 千本北座改築し、第2広沢席と改称。 井上菊松席主となり、幾代亭一座で開演。 日出 1・20		5・15 幾代亭に松永和風1日から出勤、本日 打上。日出 5・16
1・22 南座、新演劇正義団一座「親子の赤心 ・屯田兵」などで開場。日出 1・23、2・1		5・20 京都音楽会第8回演奏会第1高女で開 催。聴衆1,000余人。音楽 10・2
1・25 表千家、失火。祖堂・諸道具無事。 日出 1・26		5・20 明治座、右団次・薙升ら一座「寿曾我 ・御目見得口上・関ヶ原神葵葉・慶安太平記・浄 瑠璃」開場。(大人気、毎日団体総見あり。25日 都ホテル宿泊外人40余人観劇、花籠贈る)。 日出 5・20、21、27
1・29 歌舞伎座、曾我廼家一座俄開場(3・28 日まで続演、そのあと東京明治座へ行く)。 日出 1・23、3・27		6・2 明治座、静間一座、河合武雄・山本嘉 一加入、「ルイズの最期・鉄道競争」 ⁽⁶⁾ (17日打上)。 日出 6・4、15
1・30 夷谷座、七賀之助・当若・璃徳・関十 郎・若橋ら一座、女優巽糸子 ⁽²⁾ 加入、「田口掬汀作、 女夫波・国訛嫩笈摺・どんどろ・京人形」開場。 (2・21打上。次興行、「小栗風葉作、麗子夫人」 2・28～3・22)。日出 1・23、2・1～3・22、 2・17、28、3・20		6・11 歌舞伎座、猿之助・雁治郎一座開場。 日出 6・10
2・1 幾代亭、笑福亭松川家妻吉(堀江六人 斬で両腕切落された)と妻奴が出勤。日出 1・25		6・16 特志看護婦会へ寄附能楽会、片山能楽 堂で開催、片山九郎三郎・観世清之・宝生嘉内出 演。日出 6・13
2・2 南座、越路太夫一座浄瑠璃開始。 日出 2・3		6・24～7・10 明治座、次興行、「博士の家」 ⁽⁷⁾ (7・14～28日、「柳川春葉、母の心」興行。 日出 6・18、23、7・11・30
2・11 申楽クラブ(金剛流)第1回開催。 日出 2・7		7・1～22 歌舞伎座、襄助・璃徳一座、「怪 談乳房榎」興行。日出 6・29、7・23
2・11 片山能楽堂第2回例会。日出 2・8		7・24 歌舞伎座、大隅太夫一座、浄瑠璃興行 (4日から活動写真)。日出 7・24～8・3
2・22 明治座静間一座、「小杉天外、魔風恋 風」開場。3・12日打上。2・28岩神座、尾上松之 助一座開場。日出 2・16、17、3・14		7・31～8・11 夷谷座、伊藤一座興行(15日 から八幡屋一座浮れ節)。日出 7・30、8・12、14
3・11 片山能楽堂別会能。 ⁽³⁾ 清廉出勤。		8・4 明治座、嵐璃徳・片岡当若・浅尾関十 郎・中村霞香ら加入、新旧合同演劇「夏むし」開 場(8・24～26大切に「曾我対面」上演。人気引 立つ)。日出 7・30、8・2～26
3・15 南座、白井・大谷が買取り、登記完了。 興行は以後松竹合名社の名で開催(表側を修理、 4月開場予定)。日出 3・17、21		8・15～27 歌舞伎座、鶴屋団十郎一座俄興行。 日出 8・12、14
3・17 片山能楽堂、婦人慈善会能楽。金剛謹 之助・観世清廉・片山九郎三郎出演。日出 3・14		8・28～9・16 明治座、呂昇一座、文楽人形 を入れ興行。日出 8・24、9・16
3・17 明治座、川上音二郎一座、「モンナ・ ヴァンナ・喜劇、玉手箱」開場。23日打上。 日出 3・13～16		9・1～23 歌舞伎座、襄助・璃徳一座興行。 中狂言「黙阿弥、鬼の腕」。日出 8・26～9・24
3・21 青木流遊雅社、遊雅の一周忌挿花大会 を長寺勝円寺で開催。日出 3・14		9・2 金剛社中高台寺勧進能。日出 8・27
3・30～4・15 明治座、静間一座、「小杉天 外、縁不縁」興行。(初日切符売切)。 日出 3・30、4・1、17		9・21 明治座、静間一座、「ヴェニス商人」 (毎夜外人客来場)。(次興行、10・11「金色夜叉」 (次興行、11・1～18日井上正夫加入、「菊池幽芳 作、筆子」(次興行23日「浪六、当世女」)。 日出 9・17、20、10・4～11・23
4・8 片山能楽堂、宝生嘉内主催能楽 ⁽⁴⁾ 開催。 日出 4・6		9・25～10・19 歌舞伎座、曾我廼家一座興行。 (11・1帰り初日)。日出 9・24、11・1
4・15 八幡町神応寺で、同地中村直蔵喜寿祝 賀能。日出 4・11		
4・21 島原座全焼。 ⁽⁵⁾ 類焼4戸。日出 4・23		

京	都	府	日	本
9・30 岩神座、正朝一座開場(10・13芸題替)。 日出 9・30、10・13			1・4 福地桜痴没、66歳。	
9・30～10・17 夷谷座襄助一座、「蘆花、黒 潮」上演(次興行、22日11・6「女の心・三題噺 高座聞書」)。 日出 9・24、27、10・9、11・8			1・一 3世杵屋六翁(8世六三郎)没、66歳。	
10・13、14 片山能楽堂、先代九郎右衛門17年 忌追悼能。日出 10・9			2・17 文芸協会、紅葉館で発会式(11・11第 1回公演、「桐一葉・ヴェニスの商人・常闇」)。	
10・24～30 歌舞伎座、川上音二郎一座、「サ ルドウ作、祖国・オセロ」上演(29日外人客100 余人来場。27日片山九郎三郎観劇、大花籠贈呈)。 日出 10・23～30			4・一 曾我廼家上京、明治座で興行。	
10・25 時代祭22日雨天、本日延期挙行。 日出 10・24			5・6 常盤津林中没、65歳。	
11・11 金剛流、金剛善覚500年祭記念能。 日出 11・5			6・2 小松耕輔・山田源一郎中心の「楽苑会」 神YMCAで「歌劇、羽衣」上演。	
12・2 南座、松竹が買収、開場式。3日～18 日雁治郎・福助・巖笑・延三郎・延二郎・芝雀ら 一座興行。(12・31～2週間、横田商会活動写真)。 日出 12・2～24			6・25 8世岸沢古式部没、69歳。	
この年			9・14 4世岡安善三郎没、58歳。	
▷ この頃府第二中学吹奏楽練習開始。 京都音楽史			9・20 9世杵屋六三郎没、41歳。	
▷ 三高寮歌「紅萌ゆる岡の花」発表。			9・30 九段靖国神社能楽堂で、両金剛合併披 露能楽大会。10・28名古屋那古神社能舞で開催。 日出 10・9～11・11	
参		考	9・一 山葉商会、日本楽器製造(株)設立。	
			9・一 市川薙升、2代目左団次を明治座で襲 名。	
			10・18 帝劇(株)発起人総会開催(翌年2・28 日創立総会)。	
			11・8 芝能楽堂、能楽会附属となり、第1回 式能。	
			11・一 梅屋庄吉パター商会設立。	
			12・一 川上音二郎「祖国」上演(10月、明治 座)を最後に、舞台を退き、専らマネージャーた ることを宣言。日出 12・4	
			12・一 市川左団次、演劇研究に渡欧(翌年8 月帰国)。	
			この年	
			▷ 日比谷奏楽、5月～9月毎月2回開催。	
			▷ 楽隊(ジンタ)市中出现。	
			▷ 大阪寄席に万歳登場。	
			▷(6) 初日超満員。6月6日明治座へ大学連・高安 月郊・浅井忠その他文士連・ミヤコホテル宿泊外 人十数名来観「ルイズの最期」外人客に好評。静 間と河合へ花束贈呈、毎夜客止めの盛況。	
			▷(7) 芸題は、長田秋濤作「恋か情」・山田桂華作 (日出連載)「博士の家」(「新家庭」と改題)。囃 子は和洋折衷、杵屋君三郎・富士田千之助出勤。	

京	都	府
1・1～22 歌舞伎座、延三郎・珊瑚郎・広三郎・璃徳ら一座興行(次興行31～24日、吉三郎・当若加入。 日出 1・1～30、2・26)		5・14 岩神座、大阪若手俳優一座開場。 ⁽⁴⁾ 日出 5・14
1・1～25 明治座、静間一座興行(次興行、1・31～2・22、切の所作事に名古屋芸伎連出場)。 日出 1・1～27		5・14 梅宮神社、橋諸兄1050年祭奉納能楽、万三郎・実・六郎出勤。 日出 5・4
1・1～16 南座、横田商会活動写真。 日出 1・1、11		5・20 朝日座に外人12人観劇、作者にディッケンズの小説贈呈。(25日芸題替、「狐違い・モリエール作、伊東桜州脚色、夏小袖・忠臣美談恋路の絵図。シルレル作、髭一ツ・活動の活動写真」。 日出 5・25)
1・1 夷谷座、清国人曲芸大奇術(22日から中山実吉の浮れ節、29日から修繕、浮れ節は南座に引越。 日出 1・1、29)		5・21 西本願寺宗祖降誕会奉納能楽、片山九郎三郎・宝生嘉内・謹之助・大江又三郎出勤。 日出 5・21
2・1 朝日座、団五郎、宝楽・団十郎一座 ⁽¹⁾ 俄開場。(4・9日打上)。日出 1・28、2・3、4・11		5・26 赤風流正風社、五条坂音羽山荘で、挿花大会。<5・26京都音楽会第10回演奏会。(12・1第11回)。 日出 5・27、京都音楽史
2・27～3・27 歌舞伎座、浮れ節応用芝居興行。 日出 2・26、3・28		5・31 南座、岡本美代治一座、源氏節芝居。6・3日西陣女工連総見)。日出 5・29、6・3～10
2・28～3・27 明治座、静間一座、「嫁ヶ淵」(次、3・31～4・20「備後三郎・伊原青々園作、子煩悩」次、4・26～5・20「誰が罪」6・30「長恨歌」。 日出 2・27～6・30)		6・23 宝生嘉内社中五雲会十周年記念謡曲大会、円山左阿弥で開催。 日出 6・23
2・一 夷谷座・田村座・笹の家改築修繕中、はじめ館には貸家札貼られ、寂寥の感。 日出 2・9		7・1～22 歌舞伎座、活動写真興行。 日出 6・26、7・23
3・3 片山能楽堂猿楽会開催。忠三郎作「二人男」上演。 日出 2・24		7・1 河原町共楽館裏で廻転木馬開場。1,000人余来場。 日出 7・3
3・5～24 南座、卯三郎・黒谷市蔵・吉三郎・璃徳・福之助一座(あと横田商会活動写真)。 日出 2・26、27、4・2		7・23 吉祥院六斎、安田助之丞・藪田九一郎監督の下に32人、東京博覧会に出演のため東上。 日出 7・25
3・一 鈴木鼓村、国風会講習所を本能寺山内源妙院と黒谷山内栄撰院の2カ所に設置。 日出 3・7		7・31～8・12 明治座、楽之助・吉松郎・秀郎一座、次興行14日開場。 日出 7・28、8・13
4・2～25 歌舞伎座、吉三郎・成太郎一座興行(あと桃中軒雲右衛門浪花節興行)。 日出 4・2、26		8・1 朝日座、芸題替「雨後の月」、福井茂兵衛加入(今回で10回目、これを第1期とし、電気装置増設、大道具改新)。 日出 8・19
4・15 朝日座、箱王・新王・団治・団若・松王・梅玉・清水清・岡本不朽一座新正喜劇興行。 ⁽²⁾ (30日打上。次、5・1～24)。 日出 4・14、29		8・15～21 南座、藤沢浅二郎・静間ら一座、「紅葉作、短慮の双・益田太郎冠者、ハイカラー」(初日紫水会 ⁽⁹⁾ 200余人観劇、16日文士座、21日紫水会総見)。 日出 8・3、17
4・18～24 南座、日英合同大奇術興行。 日出 4・18		8・26～9・5 南座文楽座人形浄瑠璃興行。 日出 8・25、9・5
4・24 夷谷座、改築落成、市川市十郎一座で開場式。「五三桐・薄雲」(6月続興行、7・4日打上、次、7・14～28興行)。 日出 4・23、5・16、7・4、30		8・31～9・18 明治座、静間一座、村田正雄・都築文男・伊東貫一郎加入、「行く雲」(次興行、9・23日開場)。 日出 8・29、9・19
5・1 歌舞伎座、桃中軒雲右衛門「義士銘々伝」興行。(大学生・上層階級好評)。(あと16日曾我廼家一座で開場。6・21～29。そのあと大阪へ乗込)。 日出 5・1、14、6・20		8・31～9・29 夷谷座、楽之助一座興行、10月続興行。 日出 9・2、23
5・2 南座、雁治郎一座。 ⁽³⁾ 「浪六作、鬼あざみ・妹背山道行・西海月景清・鐘鳴今朝噂」(15日打上、20～27日帰り興行。 日出 4・25、30、5・17～27		9・4～25 歌舞伎座、福之助・璃徳一座、次は10・1～15 芝雀・右之助・広三郎抜け、夷谷座一座と合併興行(打上後17日から岩神座に引越)。 日出 9・26、10・10
		10・13～28 南座、桃中軒雲右衛門開演。 日出 10・11、29
		10・17 関西音楽協会発展披露音楽会(市議事堂正午・夕6時の二回)開催。 日出 10・13

参	考	日	本
(1) 朝日座は1月限りで大席座の小林へ返却することになっており、定席として出勤していた新玉一座の興行場を仕打大谷は心配していたが、また同座を引続いて借ることになり、それを機に松竹合名会社の模範喜劇場として団十郎・団五郎・宝楽一座を招くことになった。		1・一	角藤定憲没、(壮士芝居の開祖)41歳。
(2) 芸題、「黄金の山・益田太郎作、片袖・周章者忠臣蔵・稲垣天外作、ふた面・伊東桜州作、博覧会」全て従来の大阪俄の臭味を除き純粹の喜劇とする。追々新旧俳優を加える、模範喜劇とする意気込で12項の誓約書を作り、実行して行く、作者に伊東桜州を迎えた。鶴屋団治は、初代渋谷天外、曾我廼家箱王とが中心で結成したこの劇団は、楽天会の前身である。東京衆田貞次郎加入。一座は遊芸人鑑札を返し、俳優鑑札を受ける)。今の家延二郎というもの(元実川延二郎門人で芦若と称した)加入日々好景気で総見あり。		1・2	大阪音楽協会創立第1回演会(中之島公会堂)。
(3) 入場料、棧敷9円23、出孫(4人)6円13、場(2人)3円05、2等95、3等55、4等40、初日から総見の申込続々、一座、雁治郎・玉七・政治郎・成太郎・長三郎・林若・成笑・扇成・扇駒・村右衛門・福十郎・玉作・延三郎・巖之助・成十郎・徳十郎・伝蔵・儀平・箱登羅・珊瑚郎・伝五郎・巖笑・福助。帰り興行入場料、1等1円20、2等60、3等30、4等10銭。		2・一	イプセン会設立。
(4) 飛雀・当十郎・梅枝・梅女・橋治。「妹背山婦女庭訓・播磨鴻片身振袖・景清島物語」。		2・一	西園寺首相、歌舞伎座幹部俳優芝翫・八百蔵・高麗蔵らを自宅に招く。
(5) 島華水ら発起、池辺義象・能勢暁雨・岡本橋仙・長沢寅矩・神谷白隠・野村竹四郎・高田護拳・荻原一羊・浅野古香・高木重吉・山本暁空・林翠浪・村上信一郎・志賀の里人・円山利一・田中美風・高尾楓蔭・山田桂華ら40余人。		2・一	有楽座株式会社(資本金20万円)創立。
		3・16	能楽師生一左兵衛没。
		3・16	新派俳優木村周平没、45歳。
		3・23	2世吉田玉蔵没、42歳。
		3・一	大阪、金剛流謡曲隆盛、昨年金剛会組織、会員数十名、謹之助月数回出張稽古。(11・25博物館能舞台で創設1周年記念能開催。謹之助、「猩々」・巖、「羽衣」舞う)。
		4・13、14	楽苑会第2回歌劇大会、牛込高等演芸館、「歌劇ファウスト第1幕他」。
		4・14	初世清元梅吉没、58歳。
		5・4	川上音二郎設立の大阪帝国座地鎮祭。
		7・24	川上音二郎夫妻ら渡欧。
		7・一	大阪に最初の映画常設館、千日前電気館開業。
		8・2	市川荒次郎没(初代左団次の弟)、58歳。
		9・17	東京音楽学校、邦楽取調掛設置(右邦楽の採譜・年表編集・演奏紹介)。
		10・2	新派俳優山口定雄没、47歳。
		10・31	日米蓄音器製造(株)設立(平盤蓄音器製造。日本コロムビアの前身)。
		11・23	文芸協会本郷座で第2回公演。「ハムレット・新曲浦島・大極殿」上演。
		11・一	宮内省楽雅課、雅楽部と改称。
10・23～11・11 明治座、静間一座、「リヤ王 翻案、三人嬢」。次、14～23、「琵琶歌」。次、11・30～12・20、福之助らと合同、「家の人」。 日出 10・22、11・12、12・21		12・1	西本願寺大門新築起工式能、校間伴馬・梅若万三郎・六郎・金剛謹之助・巖・千五郎出勤。 日出 11・18
		12・1	幾代亭、東京梅坊主一座出勤、石村村雨・松翠父子も出勤、ヴァイオリン・手風琴で、長唄勸進帳・浄瑠璃・流行歌など合奏。 日出 12・1
		12・2～17	南座、雁治郎一座顔見世興行。 日出 12・1、16
		12・2	宮津万年座開場式、滝十郎・雛助一座出勤。 日出 12・5

京	都	府
1・1 夷谷座、滝三郎・吉十郎・橘緑ら一座開場、(15日二の替、三の替。あと活動写真)。日出 1・3、2・13、14、3・10	5・1～13 南座、沢村訥子・宗之助一座、「有松校相撲浴衣・信州川中島・其名高田誉仇討」。(訥子・宗之助の他芳ばしい顔振なく、不評、5・6)。日出 4・28	
1・1～22 歌舞伎座、巖笑・延二郎・珊瑚郎一座屋「石川五右衛門、関取千両幟」夜「近江源氏、時雨炬燵」。(1・29「大農」開場)。日出 1・3	5・9、10 片山清久、観世家元相続披露能。日出 5・11	
1・1～22 明治座、「当る的・月魄」静間一座。日出 1・3、29	5・18～29 南座、竹本大隅太夫一座人形浄瑠璃興行。日出 5・29	
1・19 片山能楽堂例会。日出 1・12	5・24 片山能楽堂、大江又三郎主催能楽。日出 5・23	
1・26 申楽クラブ(金剛)例会、(申楽クラブ今回規則改正)。日出 1・13、15	6・13～24 南座、左団次・女寅・寿美蔵・松薦・延二郎・福助・梅玉ら、「歌舞伎物語、大杯觴酒戦強者・神靈矢口渡・ヴェニス商人・箱根靈験記」。	
1・31～5 歌舞伎座、延二郎ら一座(2・23南部太夫ら浄瑠璃一座。日出 1・25、2・22	6・13 岩神座、松竹合名社が買い、修繕の上、芳五郎・武之助・雀三郎・梅昇ら一座開場、「小町奴吾妻花嫁・蝶千鳥曾我生立」～7・11まで。7日芸題替。日出 6・12、7・2	
1・一 大席座、東玉・正玉・馬鹿八一座。日出 1・3	6・一 横田商会「いもりの黒焼」撮影。日本映画発達史	
1・一 朝日座、箱王・団次・新玉一座。	7・1 夷谷座、成笑・楽之助ら一座。(8・11～福之助・璃徳楽之助ら一座、璃徳はこの興行限りで川上音二郎革新劇 ⁽¹⁾ に加入。9月喜劇流行の折「道中膝栗毛」を上演)。日出 7・3、8・11	
1・一 南座、活動写真(横田商会)15日打上。(1・31～2・12伊藤綾之助一座興行)、(伊藤一座はのち2・13日岩神座で開場)。日出 1・31、2・13	7・5 片山能楽堂、忠三郎社中猿楽会開催。日出 7・3	
2・1 新京極錦上ル仮設興行場を横田商会買受け活動写真常設館とする、電気館と改称(のち大席座主小林寅吉が本建築。9・12落成式、13日開場)。日出 2・1	7・14～24 南座、鶴屋団十郎・宝楽・団五郎一座、俄興行。日出 7・25	
2・15～24 南座、横田商会活動写真、長尺もこの、「女賊の変装」。	7・15 明治座、呂昇一座開場。(あと呂昇25～29、岩神座へ引越。日出 7・10～29	
3・1～24 南座、「己が罪・熊王丸・朝顔日記・乗合船」我童・珊瑚郎・福之助ら一座。(林中出勤)(そのあと4・26日まで活動写真)。日出 2・29、4・24	7・15 岩神座、福助・延二郎上置滝三郎・橘緑・璃キ升ら一座、「四ツ谷怪談・阿波の鳴門」(西陣、蕨入時期で連日切符売切、呂昇一座興行のあと福之助・璃徳一座、7・31～8・4興行。あと夷谷座へ行く)。岩神座は13日まで横田商会活動写真。日出 8・14	
3・24 島原座跡に劇場建設落成、水沢一座で開場式。日出 3・25	7・15～8・1 歌舞伎座、静間一座興行。「黒牡丹」(8・2～8八千代活動写真興行)。日出 8・2、8・9	
4・1～5・3 歌舞伎座、福之助・璃徳一座に滝三郎・吉十郎・若橋ら一座合併一座、「大石内蔵之助、都踊。次興行、5・10～6・3橘三郎上置、同一座「荒木又右衛門」。(三の替、6・7～)。日出 3・28、4・1、5・3	7・19 幾代亭、持主替り、芦辺館と改称、大阪三友派の常席とする。9月15日開場。(毎日曜・落語日曜会開演)。日出 7・24、9・11	
4・14 朝日座一周年記念大改良芸題「新葛葉・春怨・養老酒・奥様と嬪・過去未係」上演。日出 4・14	7・26～8・3 南座、雲右衛門浪花節興行。日出 7・26	
4・17～19 大宮座、文楽若手一座、南芳太夫・千代・さの・源・南部ら浄瑠璃。日出 4・17	7・29～8・13 明治座東京歌舞伎、梅幸・訥升・高麗蔵ら一座興行、「辰橋・千本桜道行・山姥・かっぱれ」。日出 7・29、8・12	
4・23 池坊42世専正没、69歳。	8・4～10 南座、大隅太夫一座浄瑠璃。日出 8・11	
4・23、24 明治座静間一座続興行中、男女学生500人観劇。日出 4・24		
4・25、26 笑福亭の橘家円弥、五代目小田太襲名披露芸芸大会、大阪三友派よりも出勤。		
4・26 堀池延叟賀寿能楽会、京都クラブで開催。日出 4・15		

京	都	府	日	本
8・10 歌舞伎座、団九郎一座喜劇開場。日出 8・9			1・10 劇評家三木竹二(鷗外次弟)没、42歳。	
8・15 南座、円頂派落語開場。日出 8・11、13			1・14 明治座、2世左団次婦朝第1回革新興行。「ヴェニスの商人・袈裟と盛遠」上演(袈裟と盛遠は松居松葉作、恋の葛藤を描いた運命悲劇。翠扇ら女優出演)。(さんざんの不評)。	
8・31～9・16 明治座静間一座興行(山田九州男加入。井上正男抜ける)。日出 8・26、9・7			1・一 吉沢商会、目黒に撮影所建設。	
9・1 歌舞伎座曾我廻家一座開場。日出 9・1			3・一 能楽奨励請願提出、これに基き能楽保護建議案衆院に上程可決。	
9・1 錦座(元河村座の跡に明38・8新築)講談席、東京初下り四代目松林伯円来演。同上			4・一 大阪の金剛流追々隆盛、近く数カ所に支部設置。日出 4・14	
9・13 金剛能楽堂別会、宝生新を招聘。日出 8・30			5・31 嵐若橋没、42歳。	
9・15～16 南座、仁左衛門・三保子・峰子・千代之助ら一座興行。日出 9・25			5・一 東京音楽学校「オルフォイス」上演、風紀上好ましくないとの文部省の意見により中止。	
9・24 片山能楽堂別会、万三郎を招聘。日出 8・30			7・一 川上貞奴、女優養成所開設、森律子・村田嘉久子・初瀬浪子・河村菊江ら十数名入所。	
9・一 牧野省三「本能寺合戦」製作。日本映画発達史			9・一 川上音二郎革新劇を標榜、第1団、2世左団次ら明治座、第2団、貞奴ら本郷座で興行。	
10・1 夷谷座、改修、福之助・楽之助らで開場。(12月興行は浅尾与六・和三郎加入)。日出 10・1、11・28			9・一 東京宮戸座、初めて連鎖劇興行。	
10・6 明治座静間一座 ⁽²⁾ 「木曾義仲」興行中、下村大丸顧客観劇会のため買切。日出 10・6			11・11 藤沢浅二郎、東京俳優養成所設立、28日開所式、明43東京俳優学校と改称、女子も入学。	
10・11～17 南座川上革新劇第二団、貞奴一座、「啞の旅行・日本の恋田口掬行」興行。日出 10・17				
10・18～27 明治座、雲右衛門興行。日出 10・27				
10・19 「今日庵月報」創刊。茶道月報 昭25・3				
11・15～21 南座、川上革新劇第一団(旧派)、延三郎・璃徳・沢村宗之助・市川寿美蔵・市川蕙若・左団治一座興行、「維新前後、岡本綺堂作、水滸伝」。日出 11・22				
11・20～25 明治座、浪花節春日亭清吉一行興行。日出 11・25				
11・26 歌舞伎座で、9月1日以来興行続けて来た曾我廻家五郎一座打上げ。あと12月1日から松旭齋天一の奇術。日出 11・26、28				
11・28、29～12・1 大江能楽堂(押小路柳馬場東)新築舞開能楽(17日は午後1～3・30、小学生3,500人招待、貞奴の舞踊、奇術、各国兵隊分列式など見せる)。日出 10・19				
11・30 明治座、大合同で開場、福井茂兵衛・秋月・小織・静間・井上正夫・花井・山田・金泉ら、～21日打上。日出 12・18				
12・1 南座、顔見世屋「仮名手本忠臣蔵」夜「宇治川先陣物語」雁治郎・梅玉・璃瑠・林若・箱登羅・我蔵・伝五郎・玉七・橘三郎・右団治。～16日打上。日出 11・23、12・1、18				
			参	考
			(1) 川上音二郎 明39・10 明治座興行を名残りとして俳優引退し、今後興行に専念すると声明し世間を驚かせた。その後は革新興行のために画策実行し、革新軍と称する劇団を二つ作り、第一軍は旧俳優、第二軍は新派俳優で組織した。第一軍は二世右団治が座頭格であった。	
			(2) 静間一座は、10月興行後、一座を解散、座長を置かない運営方式をとる。11月は現在座員で、京都新派劇と銘打ち、新発足。	
			12・1 芦辺館9年振りて、三遊亭円子・一円遊・春風亭柳寿齋・立花家円蔵ら加入、堀川菊の家と掛持。日出 12・1	
			12・14 伏見大手座、岡本五郎一座の新演劇、13日に岩神座興行打上げ、開場。日出 12・14	
			12・16 岩神座、市川滝三郎一座に、嵐璃徳・延三郎上置開場。「石井常右衛門・慶安太平記」。日出 12・14、18	
			この年	
			▷ 池坊専正没、69歳。 いけ花歴史年表	
			▷ 声楽会創立。 日本音楽史	

京	都	府
1・12 南座、京山小円ら浪花節開場。 日出 1・13		4・25～5・16 神泉苑において、壬生十人衆 大念仏執行。 日出 4・20
1・14 朝日座、楽天会45回目替り狂言。 日出 1・14		5・1 明治座、静間・熊谷・金泉ら「岩崎舞 花・並木萍水合作、吉原雀」開演、19日打揚。 日出 4・82、5・20
1・17 金剛申楽クラブ第一回能楽開催。 日出 1・11		5・1～11 岩神座、鶴屋団九郎と八千代活動 写真開場。 日出 5・1
1・24 大江能楽堂例会、(1・30維持会組織、 会員500名に達す。春季大会開催)。日出 1・24、29		5・21～7 南座、秋月・小織・福井・喜多村 ら一座で興行、「琵琶歌・紙治河庄」(紙治で喜多 村が雁治郎張で演技)(6・1～12呂昇一座)。 日出 5・20、6・1
1・一 明治座、静間・福井・金泉・熊谷ら一 座「雪の夜」興行、(23日打上)。 日出 12・25、1・24、27		5・27 歌舞伎座、明治座の若手連と合併興行、 山口定子加入。 日出 5・27
1・一 曾我廼家一座興行。 日出 12・26		5・31 朝日座、伊藤綾之助一座(青年俳優十 数名)開場。7・22まで出演、あと暑中休演し、 場内改築。 日出 7・23
2・1 明治座、「泉鏡花作通夜物語」(艶物語 と改題) 静間一座に河合武雄加入、ほか岩神座出 演の若手連応援、開場。～21日打上。 日出 1・26、2・22		5・31 国華座、落成式市川市十郎ら一座で開 場(一座6・13日から7・1まで歌舞伎座へ引越興 行)。 日出 6・2、12
2・1 歌舞伎座、「岩見重太郎・寿門松」青 年俳優福之助・和三郎・関十郎・珊瑚郎ら一座開 場。～19日打上。次21日奈良丸浪花節。(～3・27 まで)。 日出 3・27		6・1～16 明治座、雁治郎・梅玉・延三郎・ 玉七ら、「荒木又右衛門、三人新兵衛」興行。 日出 5・23、6・17
2・1 朝日座落天会興行二周年記念に団体割 引券発売。(1人20銭、3人25、4人30、5人35、 6人以上1人6銭)。 日出 2・1		6・30 明治座、静間・福井一座、「並木萍水 作、雲の峰」開場(次7・23「田口掬汀作、猛火」 (8・4岩神座で開場)。 日出 8・4
2・1 夷谷座、尾上団十郎一座浪花節芝居開 場(～17日打上、19日岡本美代治一座源氏節芝居 開場、～28日まで、非常に大入)。日出 2・18、26		7・4～7・18 歌舞伎座、延二郎一座興行 (あと7・22～30呂昇一座)。 日出 7・12～30
3・2 明治座、延二郎・我童・吉三郎・滝十 郎・璃瑠ら一座「雪雪花だんまり・千本桜・所作 事」開場。(23日打上)。 日出 2・27		7・13 末広座(大宮中立売上)大宮座を増築、 改称、青年革新団静浪一座に有馬史郎・野崎栄子 ら加入、舞台開。 日出 7・9
3・2 南座、伊藤痴遊講談・浪花亭峰吉ら浪 花節開場。 同上		7・14 国華座、吉十郎・滝三郎・飛雀・紋三 郎一座、「四谷怪談・お駒才三」開場。 日出 7・14
3・3～10 夷谷座呂昇一座興行。(あと13～ 20日、横田商会活動写真。あとジャグラー一座奇 術)。(4・1 高部・大井・丸山・秋山・桃木・英 ら一座、「想夫恋」開場。15日芸題替。次4・24鶴 家団九郎一座喜劇開場、～4・30日まで)。 日出 3・3～20、4・13、5・1		7・14 夷谷座、落天会 ⁽¹⁾ 第4回芸題替(22日 まで、そのあと24日から錦三郎一座の身振浮れ節、 岩神座から引越興行)。 同上
4・1 明治座、静間・福井・喜多村・金泉・ 熊谷ら「依艶録」開場。(～18日 打上、喜多村・ 福ら豊橋に行き、静間らは22～5日間岩神座で興 行、明治座は22日～5日間活動写真)。 日出 3・29、4・19		7・18 芦辺館第40回落語日曜会。(暑中一時 休演、9月5日再開、40回記念に景品出し、10銭 均一。 日出 7・18
4・1 歌舞伎座、「忠臣蔵」吉十郎・佐十郎 ・福之助・和三郎・関十郎ら一座開場～27日打上、 4・28、5・1～19日二の替り)。 日出 5・19		7・31 朝日座、楽天会開場。(表側を洋風に 改装、9・30日第65回目芸題替)。 日出 7・30、10・1
4・17 京都音楽同好会開催、記念音楽会、市 会議事堂。 ショパン100年		8・1 歌舞伎座、曾我廼家一座開場。(9・27 まで)。 日出 7・30、9・28
4・18 宝生嘉内東京に移住。 日出 4・8		8・7～22 明治座、福助・阪東簀助・中村福 之助ら一座に歌舞伎青年俳優一座合併興行。(9・ 8岩神座簀助ら一座開場)。日出 8・7、24、9・10
4・21 壬生大念仏開幕。 日出 4・22		8・10～19 南座、呂昇吉田玉郎一座人形浄瑠 璃興行。 日出 8・9、19

京	都	府	日	本
8・24～30 南座、桂派落語大合同興行。(国 華座と掛持)(9・1～7越路太夫一座浄瑠璃)。 (あと8日～16活動写真)。 日出 8・7、9・14			1・19 初世梅若夷没、82歳。	
9・22、23 高砂座、(東堀川下長者町)文楽 のさの・寿・柳適・三根太夫興行。 日出 9・22			2・一 小山内薫・2世左団次、「自由劇場」 創設、規約発表(会員組織、会員は観客であると 同時に経営主体となる。常設的な公演舞台を有せ ず。第1回目、この年11月27、28日、有楽座で試 演。以後年次回を重ね、大2・10月帝劇で、第7 回「どん底」再演のときから公演と称し、大3年 有楽座、第8回公演後、左団次松竹専属となり休 演、大8・9帝劇での第9回公演をもって終る。	
9・一 千本座、尾上松之助・嵐橋緑一座興行。 (この年中興行継続)。			2・一 「吉田東伍校訂世阿弥十六部集」刊。	
9・一 大帛座、桃李会 ⁽²⁾ 喜劇興行。			3・一 鶴屋団十郎没、65歳。	
10・2 歌舞伎座、延三郎・仁左衛門・中村伝 五郎・嵐和三郎・福之助・関十郎・片岡愛之助ら 一座、「堀部安兵衛」開場。 日出 9・29			4・一 松竹合名社、大阪文楽座買収。	
10・10～24 明治座、高田実・喜多村・秋月・ 小織ら合同大一座、「左藤紅緑作、潮」興行。 ⁽³⁾ 日出 10・7、24			5・1 文芸協会、坪内逍遙邸内に、付属演劇 研究所落成開設。(2月協会は改組、逍遙主宰)。	
10・14～25 南座、深沢恒造 ⁽⁴⁾ 一座のコメディ ー興行。(10・28～11・9日明治座で興行。)自称豪 傑・黄金の夢・鴛鴦亭・女天下)。 日出 10・25			6・25 「活動写真界」(最初の映画雑誌)創刊。	
10・一 尾上松之助主演映画の最初「岩盤忠臣」 牧野省三により撮影。			7・15 川上貞奴の女優養成所、帝劇の経営に 移り、「帝国劇場附属芸芸学校」と改称。	
11・1 歌舞伎座、静間一座、山田九州男加入。 「前田曙山作、紅露」開場。(11・24から次興行、 静間・山田・金泉・辰見・高部・岡本・熊谷ら、 「並木萍水作、間一髪」)。 日出 11・20			7・一 この頃活動写真常設館増加、東京市内 だけで70館余、浅草六区・本所・深川に集中。	
11・1～20 夷谷座、福之助・関十郎・愛之助 ・和三郎・吉松郎・門三郎・奥山ら「女荒神、渡 辺黙然作」。 日出 10・28			11・一 白井松次郎「新富座」買収。	
11・1 久米座(大宮村雲林院)新築落成式挙 行。実川延五郎一座「夜討曾我」。 日出 10・30			12・25 山田耕作処女オペラ「誓いの星」、芝 ユニテリアン教会で発表。	
11・10 審美音楽会秋季演奏会。(京都クラブ) 日出 11・9			12・一 東京新富座(中村芝鶴所有)松竹合名 社が3ヶ年契約で借用。	
11・13 明治座、中村芝鶴(安もの芝翫の称あ り)ら一座開場。(12・1二の替り)。(12・11団九郎 一座喜劇開場)。 日出 11・10、29、12・10			参	考
11・14 京都音楽会主催第14回音楽会、於第一 高女。 日出 11・11			(1) 楽天会はこの興行5月31日松平竜太郎一座と 合併興行、座員全部改名、中島楽翁(箱王)・渋谷 天外(団治)・糸田通天(糸仙)・河内延夫(延 二郎)・中村芝楽(小団治)・宮島弁天(梅若)・ 清水天華(清し)・高田天紫(元録)・奥村天蝶 (新蝶)・大谷南天(満枝)・田村楽太(団枝)・ 前田天童(少将)・吉沢天室(富士宝)・小松平楽 松(天九)・佐々木喜楽(喜玉)・河内天喜(延花)・末広楽扇(団若)。括弧内旧名。	
11・15 平居館(寺町五条下)新築落成、芦辺 館落語一座で開場。 日出 11・13			(2) 喜劇は目下、歌舞伎座の曾我廼家、定席とし ての大虎座の桃李会、朝日座の楽天会が鼎立。曾 我廼家は新喜劇、桃李会は滑稽劇、正玉・嵐吉が 双壁、芝雀・正二郎ら特徴あり、楽天会は正喜劇、 箱王は味わい深く、天外は珍型、女型の弁天、通 天らうまい。	
11・28 大江能楽堂新築一周年記念能会。 日出 11・28			(3) 背景の内序幕塩原山中セツ岩、三幕目上野清 水堂、四幕目は東京から洋画家丹羽黙仙が招かれ て揮毫。	
12・1 南座、雁治郎・梅玉・橋三郎・多見之 助・延三郎・福助ら一座に右団治親子加入襲名披 露。榎本破笑・経島娘生贄廓文章)。(～17日打上)。 日出 12・18、20			(4) 深沢は元川上音二郎一座に居たが、8月離れ て新派コメディーを組織、9月大阪弁天座で酒井 正俊ら若手一座で興行、好評。	
12・12 芦辺館、第55回落語日曜会。 日出 12・12				
12・14 朝日座、楽天会第70回芸題替。 日出 12・14				
12・16～27 歌舞伎座、呂昇一座興行。 日出 12・26				
12・26 都座、(七条道場跡)落成式。 日出 12・25				
この年 ▷ 旧嵯峨御所華道総司所設置。 高橋、いけばな				

京	都	府
1・1 1日現在諸興行もの。 ⁽¹⁾ 日出 1・1		5・3 南座、雁治郎・福助一座開場、19日打上5・30～6・12二の替り興行。 日出 5・1、20、6・12
1・7 表千家11代碌々斎左没、74歳。 京の茶家		5・23～29 岩神座、延三郎一座興行。 日出 5・29
1・9 芦辺館・第56回落語日曜会。 日出 1・9		5・30～6・21 明治座、福井・山田・岡本・西田・高部一座に我童加入「東京毎日電報連載、操」興行。 日出 5・28、6・22
1・14 朝日座、第72回芸題替。 日出 1・15		6・12 京都音楽会、第一高女で開催。 日出 6・11
1・15 弁天座(千本中立売)新築落成式挙行。 同上		6・22～7・4 南座、三遊亭円哥ら東京落語家一堂興行。 日出 7・3
1・22～29 明治座、吉田奈良丸浪花節興行。 (20日静間一座「望」上演打上)。日出 1・1、20		6・23～28 岩神座、我童一座興行。 日出 6・29
1・22～26 国華座、静間抜けた一座興行。 日出 1・21		6・25～7・1 歌舞伎座、マンマル・サカニ嬢奇術興行。 日出 7・2
1・24 岩神座、延二郎・佐十郎一座、「双蝶蝶曲輪日記・恋飛脚大和往来」開場。日出 1・23		6・28 明治座、静間一座「伊原青々園作、新野崎村・佐藤紅緑作「人の親」開場。(7・2～12福井・秋月・小織加入、「草枕」開場。 ⁽³⁾ 次興行、14～24、8月中普請休業。9・21時蔵・河合・熊谷・金泉・藤沢一座で「時雨日記」開場)。 日出 6・24、7・13、9・18
2・1 明治座、静間一座、「娘気質」開場。 日出 1・30		7・1 夷谷座、楽天会開場、(8月は吉沢商会の活動写真)。 日出 6・29、7・30
2・1 歌舞伎座、市十郎・福之助一座「宮本左門之助・扇谷熊谷」開場。(3・23～27一座岩神座之引越興行)。(4・1～22一座福之助抜け、珊瑚郎ら加入、歌舞伎座へ戻り興行)。 日出 1・27、3・23～30、4・23		7・3 寿座(千本中立売上)改築竣工、片岡九蔵上置、片岡市之正一座「塩原多助・石切梶原」開場。 日出 7・1
2・2～20 南座、伊井蓉峰一座、喜多村加入、「不如帰・鈴ヶ森」興行。(12日高等学校生徒数百名総見、他申込多数)。 日出 2・21		7・8～25 歌舞伎座、徳三郎一座興行。 日出 7・4、27
2・3 日本座(三条千本西入)嵐璃之助・嵐橋治一座で開場式。 日出 2・4		7・25～29 南座、杵屋六左衛門・勘五郎・芳村伊十郎・岡安南甫(喜代八改め)ら長興興行。(8・1日から文楽越路太夫一座開場)。 日出 7・29、30
2・4 京極座(中立売千本東入)中村芝蔵・片岡市之正一座で落成式。 同上		7・1 横田商会、智恵光院柳小路に撮影所設立。 日本映画発達史
2・8 岩神座、尾半・橋久丸・馬鹿八一座俄開場。(一座16日から国華座で興行)。 日出 2・16		7・1 当昇亭開業2周年、浪花節広沢当昇出演。 日出 7・1
2・25 明治座、静間一座「柳川春葉作、心の影」開場。 日出 2・23		8・1～10 岩神座、楽天会興行(9・1～5日南部太夫一座浄瑠璃興行)。 日出 8・10、9・5
3・18 南座、静間・福井・小織一座「想夫憐・対面曾我」開場。 日出 3・16		8・1 芦辺館、落語研究会を復活。 日出 8・1
3・31 松竹合名社、新に喜劇団組織、「飄々会」と命名、朝日座で開場。(6・14日一座新顔二三加入、芸題替)。 日出 3・25、27、30、6・14		9・1～22 南座、延二郎・吉三郎・成太郎・璃瑠一座「朝日新聞連載、女夫雛・小島孤舟作、「雷」興行。 日出 9・22
4・1 西陣電気館、「松之助主演映画、碁盤忠信」上映。		9・1 歌舞伎座、曾我廼家一座開場(14日芸題替。27日打上、東上)。 日出 8・29、9・27
4・3 明治座、川上音二郎一座 ⁽²⁾ 「桜痴作、楠正成、松居松葉齋案、ボンドマン」(17日打上)。 あと同座は、4・20から活動写真。日出 4・3、18		9・15 京都座、新築届提出。 ⁽⁴⁾ 日出 9・17
4・23 東京音楽学校研究科生修学旅行中、第一高女で臨時演奏会、ベツォールド夫人出演。 日出 4・22		9・24 YMCAホールで、イギリス・フレデリック・グリフィス、フリユート独奏会。 日出 9・22
5・1 夷谷座、珊瑚郎・関十郎・佐十郎・秀郎・和三郎一座開場。19日打上。6・1～17戻り興行 日出 5・1、20、6・19		
5・3 歌舞伎座、曾我廼家一座開場。 日出 5・1		

京	都	府	日	本
9・27 高木文平没、68歳。 日出 9・29			2・1 山田耕筰ベルリン留学。	
10・1～23 歌舞伎座、嵐三五郎・佳笑一座、「肥後駒下駄・三十三間堂」興行。 日出 10・23			3・27 大阪、帝國座落成式、川上音二郎・貞奴らで1日開場。 日出 2・23、3・2	
10・21 南座、楽天会開場。(11・2芸題替。11・15芸題替)。 日出 10・19、11・2、14			3・1 日英博覧会に陸軍々楽隊出張。	
10・31～11・21 歌舞伎座、福之助・広三郎・滝十郎・和三郎・珊瑚郎一座興行。(あと一座12・14～19岩神座で興行)。 日出 11・21、12・12			4・1 「東京フィルハーモニー」第1回演奏会。	
11・1～20 明治座、静間・金泉・熊谷・秋月・福井・小織・英ら新派大合同、「命」興行。(11・23～12・17静間抜けて、この一座岩神座で興行し、そのあと、明治座に戻り、高田・河合も加入、80余名の大一座顔見世興行)。 日出 11・17、20、23			5・4 東京明治座開場に市川団吉、市十郎襲名、父の市十郎大阪にて眼玉と改名。	
12・3～18 南座、雁治郎・福助ら顔見世興行。 日出 12・19			5・1 自由劇場(左団次・小山内薫)第2回試演に「出発前半時間・生田川・犬」上演。	
12・31 夷谷座、静間一座 ⁽⁵⁾ 「光・雲の行方」開場。 日出 12・29			5・1 2世左団次、60年ぶりに歌舞伎十八番「鳴神」復活。	
12・31 横田商会、新京極に電気館、新築開館、「中央電気館」と称する。 日出 12・28			7・1 松竹合名会社、本郷座を合併。	
12・31 松竹合名会社、新京極菊人形の土地に電気館新築、「八千代館」と称する。31日開館の筈。 日出 12・21			7・1 表千家大阪出張所(伏見町)開設。 表千家	
この年			8・15 人形遣、初代桐竹紋十郎没、70歳。	
▷ 芦辺館、落語日曜会、1・9第56回から12・11第95回まで開催。 日出			11・1 井上正夫らの新時代劇協会第1回公演。	
▷ 千本座で尾上松之助・橋緑一座の芝居。1・14から10・14まで連続常打。 日出			12・1 自由劇場、第3回試演、「夜の宿(どん底)」初演。	
▷ 第1回京都連合挿花合(正風遠州・池坊・松月堂古流・専慶・都未生・未生など14流参加)。 高橋一男、いけばな			12・1 本郷座、喜劇「楽天会」登場。	
▷ 小原雲心、池坊から独立、国風式盛花提唱。 同上			12・1 製作・興行会社福宝堂創立。	
			12・1 松竹合名会社解散、松竹合名社と改称。	
参	考			
(1) 南座、延二郎・我童・成太郎・吉三郎・卯三郎・璃瑠一座、「里見八犬伝・小栗判官車街道・女殺油地獄・所作事雪月花」。明治座、静間一座、「日出連載望」(1・20打上)。夷谷座、福之助・愛之助・関十郎一座、「四季模様白縫譚・名筆反魂香・明鳥六花曙」。岩神座、市川市十郎一座、「絵本太功記・箱根靈験甞仇討」(1・22打上)。国華座、「川上二郎・花井一郎一座、昼「鶴舟」夜「初日出・響焼野の雉子」(1・20打上)」。千本座、松之助・橋楽・梅咲一座、「相馬大助」、末広座、岡本美代治一座。(2・7 打上)。歌舞伎座、曾我廼家一座。(1・26日 打上)。朝日座、楽天会一派。大寅座、正玉・嵐吉一座。芦辺館、文吾・枝太郎			↑一座、落語。平居館、文吾ら掛持。笑福亭、円太郎一座、落語。西陣座、円太郎ら掛用持。当昇亭、当昇一座浪花節。駒の家、当昇ら掛用持。第一福真亭、梅寿軒一座、浪花節。第二福真亭、君栄・小綱一派・女義太夫。錦座、閉路一派、女義太夫。日本館・新京極・南北電気館・西陣電気館、横田商会活動写真。	
			(2) 一座俳優、川上音二郎・貞奴・川上敏夫・川上秀夫・山本・津坂・荒川・花園・長谷・大竹・穴戸・すみ子・梅子・秀子・つる子・川上磯太・野垣・大井・山田・小織・福井。	
			(3) 打上後一座二分し、静間・福井・金泉は居残り続演、秋月・小織・山田は岩神座で「夏木立」上演。	
			(4) 大阪高木布袋・東京田村成美が共同で新築、敷地415坪、12万円で購入、建坪300坪、木造二階建、間口15間、定員1648人。	
			(5) 12月頃、静間下り坂、新俳優を募集し、夷谷座を根拠に捲土重来を期す。「新派俳優養成所」を設立し、1月から開場。 日出 12・25	

京	都	府
1・3～8 南座、横田商会活動写真、「忠臣蔵」(五段目に俳優出演)。 日出 1・3、9	4・1 朝日座は松竹合名会社が活動写真館新築、ミカド館と命名。 日出 4・7	
1・10 南座、三五郎・佳笑一座「小笠原諸礼忠孝」。 日出 1・9	5・1～10 歌舞伎座、京山小燕浪花節興行。 日出 5・11	
1・12 岩神座、横田商会活動写真、「忠臣蔵」上映。 日出 1・13	5・1、3 大谷派本願寺遠忌法要式能。 日出 5・2、4	
1・22 金剛能楽クラブ、月例会を隔月昼夜交替に開催。22日は本年昼初能会。1・7(2・22日初夜会能)。 日出 2・22	5・6 南座、右団次一座「石川五右衛門・邯鄲夢物語」開場、(28日打上)。 日出 5・1、28	
1・22 岩神座、落天会芸題替、2・7日打上。(そのあと浮れ節芝居)。 日出 1・22、2・8	5・9 オペラ館落成、開館(元南電気館を増築)。 日出 5・9	
1・25 白川亭(古川町三条下)新築届、300人収容。 日出 1・26	5・13～22 歌舞伎座、呂昇一座興行。(24日曾我廼家一座開場)。 日出 5・28、6・20	
1・26～2・11 夷谷座、静間一座、「鬼一口・未亡人」に芸題替興行。替り興行、2・15～3・5「うづ潮・花の命」。3・8「女の望」。 日出 2・12、13、14、3・3、8	5・14 明治座、伊井・河合・村田一座「サッフオー・五月晴・喜劇最愛の妻」開場。日出 5・13	
1・1 中央電気館・南電気館・北電気館・日本館・西陣電気館・八千代館・中央館活動写真館として興行競う。 日出 1・3、21	5・23 藤村検校没、59歳。 日出 5・26	
2・1～22 明治座、福之助・延二郎ら一座、二の替り興行。 日出 1・23、2・1、23	5・24 喜多流、堀池延叟没、77歳。 能 昭43・7	
2・5 芦辺館、第100回落語日曜会。 日出 2・5	5・27大江能楽堂改築披露能楽。 日出 5・27	
2・7 瀬川呉服店(四条烏丸西)二七の夜毎に店員の娯楽に謡曲稽古開始。 日出 2・6	5・28 林喜右衛門没。 日出 5・27、29	
2・28 朝日座、第28回芸題替。 日出 2・28	6・5～27 明治座、延二郎・歌六・吉右衛門親子ら一座、興行。 日出 6・24	
2・1 三高学生、楽天社で三と八の日に謡曲	6・19 第一・第二福真亭新築竣工、第一は岡本鶴一座浪花節、第二は隅広・尾上・綱吉ら女義太夫で開場。 日出 6・19	
2・1 この頃宝生流謡曲追々隆盛。 日出 2・22	6・25 岩神座、曾我廼家一座開場。 日出 6・25	
3・4～25 明治座、延二郎・成太郎・嵐璃狂・卯三郎一座に旭梅・翠扇を加え興行。 日出 2・25	6・30 劇場取締規則(明34公布)改正。(活動写真に関する条項追加)。 府令 108	
3・16 東京福宝堂、西京館(木津屋橋西洞院)新築、親鸞上人絵伝など上映。 日出 3・16	7・1 京都座、熊谷・高部一座、松竹の自主興行。 日出 6・30	
3・24 夷谷座、桃中軒桃太郎浪花節開場。 日出 3・23	7・1 岩神座、瓢々会開場(7・14～30一座夷谷座興行)。 日出 7・1、31	
3・25 岩神座、静間一座開場。 日出 3・22	7・1～26 南座、楽天会興行。 日出 7・27	
3・26 南座、都活動写真大会。 日出 3・25	7・3～18 明治座、延二郎・右団次一座興行。 日出 6・30、7・20	
3・30 新京極大火。 ⁽¹⁾	7・31 岩神座、楽天会開場。 日出 8・1	
4・4 基督教青年会館(三条柳馬場)新築落成開館式。 日出 4・5	7・25～8・6 歌舞伎座、天勝一座興行(そのあと改築工事)。 日出 7・18、23	
4・6 舞鶴、新舞座出火焼失。日出 4・7	7・31～8・25 南座、パテー商会活動写真	
4・9 大席座喜劇芸題替。 日出 4・9	7・29(目下パテー商会新京極に常設館建築中)(現菊映の土地)。9・16開館。 日出 9・18	
4・14 夷谷座瓢々会開場。 日出 4・12	8・1～30 裏千家、夏期講習会開催。 茶道月報 昭25・4	
4・21 明治座、喜多村緑郎・静間ら一座、開場。 日出 4・16	8・3、4 全市出水、3日夜新京極下水氾濫、250余戸没水。 日出 8・5	
4・29 京都座新築開場式、5月1日、宗十郎・宗之助・梅幸・高助・松助ら大一座初日、5月19日打上。 日出 4・25、5・11	8・14 夷谷座、瓢々会、更生開演。 ⁽²⁾ (8・27喜劇研究会第一回開催。8・29)。 日出 8・11	
	8・14 実川延三郎 ⁽³⁾ 没、41歳。	
	8・1 歌舞伎座改築、内外装洋風にかえる。 日出 8・7	

京	都	府	日	本
9・3～22 京都座、熊谷・高部・大井・英ら一座開場。 日出 8・24			1・31 試演劇場(俳優学校特設機関)第1回試演。(4月まで4回実施。毎回牛込高等演芸館が舞台。6・23有楽座で第1回卒業公開試演。11月2・3期生、演芸館で試演。試演劇場これで終る)。	
9・10～24 南座、独立劇場、 ⁽⁴⁾ 「華族と百姓」興行。 日出 9・25			3・1、2 東京、帝国劇場開場式。	
9・15 明治座曾我廼家一座開場。日出 9・13			3・1 観世鎮之丞紅雪没、69歳。	
9・16、17 新舞鶴群鶴座で薩摩琵琶同好会開催、衣川美由幾・山岡薩南滞在で出演。 日出 9・17			3・1 浅草、金竜館(映画製作者、福宝堂の封切館として)開館。のち大衆喜劇・オペレッタ・レビューの大衆劇場として親しまれる。	
9・21 茂山千五郎第19回考究会開催。同上			5・1 新富座に雁治郎・梅玉一座出演。	
9・30～10・21 南座、福之助・和三郎・珊瑚郎・荒太郎ら一座興行。			7・1 観世清廉没、45歳。	
10・7 青年会館、同志社女学校演奏会開催。 日出 10・8			7・1 帝劇に柴田環出場、独唱。	
10・8 芦辺館、第122回落語日曜会。同上			8・1 帝国劇場歌劇部創立、第1期生募集。	
10・20 岩神座、熊谷・高部一座、「サーベル・喜劇思い違い」開場。 日出 10・20			9・11 7世市川団藏没、76歳。	
10・21 新舞鶴字北吸 8・22、大上方で宝生流謡曲会、綾部・福知山から来会者。 日出 10・21			9・22～3 文芸協会研究所第1回協会試演。(「イプセン、人形の家」初演、松井須磨子ノラで出演、好評)。(第2回目、帝劇公演、11・28～7日間)。	
10・21 歌舞伎座改築竣工、25日福宝堂の活動写真開館。 日出 10・23			11・10 東京劇場組合、所属俳優の映画出演禁止。	
10・24～28 南座、杵屋六左衛門・勘五郎・伊十郎・南甫ら長唄会開催。 日出 10・22			11・11 川上音二郎大阪で没、48歳。	
10・25 第17回京都音楽会第一高女で開催。 日出 10・22			12・1 帝劇、柴田環・サルコリ出演。「カヴァレリア・ルスティカーナ」の一部原語上演)。	
11・2～24 明治座、静間・高部・金泉・丸山・喜多村ら50余名の大一座、「鏡花作婦系図」興行、好況。阪神の鏡花会総見、長谷川時雨東京から観劇上京。(11・18川上音二郎葬儀日弔意を表し休場)。 日出 10・28、11・3、18、24			この年 ▷ レコード、蓄音器普及。	
11・3 京都華道協会主催、各流連合挿花大会新京極各寺院会場とし開催。 日出 10・10			参 考	
11・23 京都座、桃中軒雲右衛門開場。 日出 11・23			(1) 3月30日午前3時、六角下浪花節席第1福真亭から出火、約3時間半に亘って、全焼51戸、半焼6戸を焼き、その損害約60余万円。焼失区域は挿図の通り、興業場では、火元の第1福真亭、朝日座、田村座、第2福真亭が、寺院では誠心院・蛸薬師が焼失した。 日出 3・31	
11・30 明治座、福之助・関十郎・和三郎・秀郎・荒太郎ら一座「赤穂忠誠義士・廓文章」開始。 日出 11・30			(2) 更新策は、文士俳優の有志によって喜劇研究会を組織、それをバックに脚本も全国から募集。狂言作者、賀古残夢・西脇静雨ら加入。	
11・30～12・1 舞鶴町縦楽座、舞鶴紫泉会主催で泉祐三郎を聘し今様能狂言開催。日出 12・1			(3) 明4大阪生れ、6歳延若の弟子入り、正若と名のる。24歳から、京都の岩神座・夷谷座・坂座(のち歌舞伎座)特に座頭として出演、人気高く、38年大阪中座で五代目延三郎を襲名披露、42年一等俳優、7月明治座に出演中鉛毒症を発し、済生病院に入院加療中であった。	
12・1 長久亭(千本通一条南)新築竣工、芦辺館の特定演芸場として開場。 日出 11・29			(4) 独立劇場は、藤沢浅次郎の設立した俳優学校の第一回卒業生が劇団を組織したもの。巖谷小波が顧問、主事柳本清・小山内薫が校長。	
12・3～18 南座顔見世興行、雁治郎・梅玉・右団治・扇雀・我童ら50余名。日出 11・27、12・19				
12・9 大江能楽堂納能会。 日出 12・4				
12・31 京都座、福之助ら一座開場。 日出 12・29				
12・31 明治座、静間・金泉ら一座開場。 日出 12・				
12・1 第二京極開通。 新京極沿革史				

京	都	府
1・7 遠州流吉田冷月(押小路高倉西)の正風会、新京極安養寺で新年初奇。 日出 1・7	5・7 千本座、桃中軒小雲開場。日出 5・7	
1・14 片山能楽堂初会。 日出 1・10	5・10~27 夷谷座、浪花節興行。 日出 5・10、27	
1・21 明治座、静間・高田・福井ら一座、「不如帰・寒菊」開場。 日出 1・22	5・12~26 京都座、秋月・山織・大井・英・福井・静間・村田ら一座、「母の心・生蕃少女」興行。 日出 5・10、27	
1・21 芦辺館、落語日曜会。(この月を例外とし、今後第二日曜を定例日とする)。日出 1・21	5・25 第二高小25周年記念式に余興能楽、金剛巖・大江又三郎・千五郎出演。 日出 5・24	
1・25、26、27 伏見大手座、京阪若手俳優一座、「伏見義民文珠九助一代記」上演。 日出 1・27	5・一 蓄音機月賦販売講組織。 ⁽¹⁾ 日出 5・18	
1・26 南座、吉田奈良丸浪花節。日出 1・24	6・2~20 南座、雁治郎一座興行。 日出 5・25、6・13	
1・26 「諸芸新聞」創立5周年記念、諸芸大会京都クラブで開催。 同上	6・2 京都座、静間・村田・都築・山田ら一座「巴里の仇討・ひそみ・喜劇魔の花束」開場。 日出 5・28	
1・30 京都音楽会、北村季晴を聘し、第一高女講堂で第18回演奏会開催。 日出 1・28	6・15、16 三大事業竣工祝賀会、岡崎公園で挙行。全市祝賀気分湧き、会場演芸場では曲技・喜劇など行われ、各遊廓屋台を曳き会場に繰込。 日出 6・15、16	
1・一 南座楽天会(24日まで)。	6・20~22 京都座、バンドマン、オペラ興行。 日出 6・20	
1・一 錦座座座、常打女義太夫団昇一座は笑福亭に移る。 日出 1・29	6・20~7・2 明治座、小織・秋月・静間・村田ら一座「琵琶歌」興行。 日出 6・20、7・1	
2・1 明治座、東京女義太夫綾之助一座開場。 日出 1・28、30	6・27~7・1 南座、文芸協会公演。 ⁽²⁾ 日出 6・20	
2・1~23 京都座、雁治郎・延二郎・福之助ら百名に及ぶ大一座、「奴小万・大石主税・中將姫・杵菩薩」興行。 日出 1・24、2・1、24	6・一 喜多流謡曲研究会発展。 ⁽³⁾ 日出 6・20	
2・4~11 南座京山小門浪花節興行。(2・13~3・6広沢夏菊(16歳の少女)一座)。	6・一 東洋蓄音機株式会社設立株式募集。 ⁽⁴⁾ 日出 6・24	
日出 2・12	6・一 新舞鶴、稲荷座、翠香園一座壮士芝居興行。(この一座宮津・河守・福知山など巡業)。	
2・11 伏見大手座、熊谷・高部一座開場。 日出 2・11	日出 6・30	
2・15 明治座、曾我廼家一座、3・16日まで、3・7。	7・3~10 南座、浪花節活動写真興行。 ⁽⁵⁾ 日出 7・3、11	
3・5~16 京都座、静間・福井・英(一等俳優となる)ら一座、開場。 日出 3・2、13	7・7 明治座、静間一座、「緑光・大滝」開場。 日出 7・4	
3・17~24 南座、川上音二郎追善劇。 日出 3・13、26	7・11、12 大虎座、初代正玉13回忌興行、(純旧俄「堀川」上演。(13~18日芸題替続興行。(20日から曾我廼家一満・団九郎・宝楽一座興行)。	
3・30 南座、少年浪花節天中軒雲月一座開場。 日出 3・27	日出 7・10、20	
3・30~4・23 明治座、福之助一座興行。 日出 3・25、4・25	7・21 明治天皇病気のため、一般謹慎を表わすよう、また警察は興行主、遊廓代表に鳴物余興等禁ずるよう訓諭。 日出 7・21、22	
4・1~18 京都座、河合・深沢・福井ら合同一座興行。(4・25静間・福井らで興行)。	9・1 静間・熊谷ら一座福知山で開場、そのあと舞鶴で興行。 日出 9・1	
日出 3・29、30、4・27	9・18 明治座、小織・井上正夫らと市川糸八らの男女合同劇開場(10・6糸八ら女優連岩神座で開場)。	
4・11~25 南座、都活動写真興行。 日出 4・11、25	日出 9・8、10・4	
4・25 京都座、静間・福井ら一座、「乳兄弟・緋ざくら」開場。 日出 4・27	9・18~28 南座、浪花三友派落語大会。 日出 9・12、29	
4・30 夷谷座、革新浪花節歌舞伎、桃中軒誠・嵐家三郎一座「鎌倉三代記・忠僕直助」開場。 日出 4・28	9・24 園部共楽館(明22新築)、修復し開場。 日出 9・24	
5・3~25 南座、曾我廼家一座興行。 日出 4・30、5・1、24		

京	都	府	日	本
9・一 第二新京極の常設館、松竹が所有することになり、改造して東京三崎座の女優らと呼ばれ常設とする)。(大正座と改称)。(11・9開場。毎夜学生入場多数、12・30芸題替)。				1・一 M・パター(株)創立。
日出 9・22、10・8、11・9、19、12・2				2・一 帝劇、三浦環・清水金太郎「熊野」上演。
9・一 日本活動写真(株)組織。				3・2 小山内薫・安成貞雄ら文芸活動写真会第1回有楽座で開催、輸入文芸映画上映。
9・一 笑福亭の三友派、三友派から分裂した「京桂派」の常席となり、開場(日曜毎に落語矯風会開催)。				5・3 有楽座、文芸協会第3回公演、「ブーデルマン作抱月訳、(故郷)マグダ」初演。
日出 10・2、10・13				6・一 松竹合名社、東京歌舞伎座買収し、直営とする。
10・3 花遊小路開通式。 日出 10・4				8・一 東京音楽学校、能楽囃子科生徒養成規定成立。
10・15~11・3 明治座、秋月・静間・福井・喜多村ら一座興行。 日出 10・13、11・4				9・一 日本活動写真株式会社設立。(吉沢・横田・M・パター・福宝堂の4社これに合併)。
10・15 京都座、福之助ら一座開場。 日出 10・14				10・一 帝劇歌劇部イタリー人、ローシー招聘。喜歌劇上演。
10・25 歌舞伎座、活動写真館開館一周年記念割引回数券発行。 日出 10・25				10・一 奇術師、松旭齊天一没、60歳。
11・2 京都座、中村福円・嵐三五郎一座開場。(11・17二の替り、30日三の替り)。				10・一 2世竹本津太夫没。
日出 11・1、16、28				12・15 小山内薫渡欧。
11・7~18 南座、静間一座興行。 日出 11・5、19				この年
11・22 青年会館、永田錦心薩摩琵琶大会。 日出 11・21				▷ 映画「ジゴマ」興行禁止。
11・29~12・3 明治座、アーラン・ウイルク一座「ハムレット・オセロ・ヴェニスの商人・ロメオとジュリエット」上演。 日出 11・23、12・3				▷ 小原流第1回国風式盛花展、大阪三越で開催。
12・3~17 南座、雁治郎・福助一座「神風、日本連載・菅公・梶久末松山」。				
日出 11・27、12・3、17				
12・17~26 明治座、呂昇一座。				
12・21~26 南座、曾我廼家一座忘年興行。 日出 12・18				
12・21 第二京極開盛座、丸本館と改称、活動写真館。(西洋もの専門)。				
日出 12・22				
12・一 祇園新地絃養会解散。 ⁽⁶⁾ 日出 12・13				
参	考			
(1) 深見伊兵衛・長谷川政一・北村彦次郎外数人合資会社、「内外蓄音機商会」を設立(四条堀川東)。月2円50銭、15ヶ月で(37円50銭)蓄音機と音譜12枚を入手できる。 日出 5・18				ア(3) これまで堀池延叟の流のみであったが、宗家との交流を計り、北村吟二を宗家に入門させ、また六平太の高弟金子亀五郎が時々上洛、指導することに決る。 日出 6・20
(2) 演目、「スーデルマン故郷」出演者、土肥庸元・松井須磨子・林千蔵・和泉房十二・都築道子・三樹永造・佐々木積・東儀季治・西原勝彦・戸田猿仁・横川唯治・泉新一・森英次郎。観覧料1円50銭・80銭・50銭・20銭。吉田方面の人気破天荒。(この第2次文芸協会は2・7・8解散) 日出 6・20、7・1				(4) 平井熊三郎・真島元次郎・林田栄次郎・深見伊兵衛・伊東平三郎・中川徳右衛門・藤原忠之助・一宮善十郎ら発起、音譜、蓄音機附属品製造販売の目的で創立、資本金20万円。 日出 6・24
				(5) 活動写真「堀池の面焼」の進行に合わせて若駒が語り、「神崎東下り」は奈良丸のレコードで合わす。 日出 7・3
				(6) 女紅場長唄教師三人が辞職し、それを中心とした長唄研究会であったので、自然消滅の形となった。 日出 12・13